SONY®

4-168-672-**03** (1)

Data Projector

VPL-DX10/DX11/DX15

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書と付属の CD-ROM に入っている**取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、ソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号


注意

火災

感電

高温

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号


接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

お客様へ







下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コードや接続ケーブルを使う



付属の電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

容量の低い電源延長コードを使用しない



容量の低い延長コードを使うとショートしたり、火災や感電の原因となったりすることがあります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む



まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する



アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

アースキャップは幼児の手の届かないところへ保管する



お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない



天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー推奨のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本機およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

床／卓上置き、または天吊り金具を使った天吊り以外の設置をしない



それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない



熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない


禁止

排気口､吸気口をふさぐと内部に熱がこもり､火災や故障の原因となることがあります。また､手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁や周辺の物から30cm以上離して設置、使用する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。

レンズをのぞかない


禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り､悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない


禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一､水や異物が入ったときは､すぐに電源を切り､電源コードや接続ケーブルを抜いて､お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

内部を開けない


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると､火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定､点検､修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

指定された部品を使用する


指示

指定以外の部品を使用すると､火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ､電池､フィルターは指定されたものを使用してください。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する（VPL-DX15のみ）


禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない


注意

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると､プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると､感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない


接触禁止

感電の原因となります。

不安定な場所に設置しない


禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると､倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また､設置･取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

水のある場所に置かない


水ぬれ禁止

水が入ったり､濡れたり､風呂場などで使うと､火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や､海岸､水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない


禁止

火災や感電の原因となることがあります。

本機を運搬するときは落下に注意する



本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。また、付属のキャリングケースをご使用いただく場合も落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

本機を立てて置かない



保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

排気口周辺には触れない



排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない



遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない



火災の原因となることがあります。

製品の上にものを載せない



製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする



約 500 時間使用したら、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

エアーフィルターを外したまま使用しない



内部にゴミがたまり、故障の原因となります。

運搬するときは USB メモリーを外して移動する（VPL-DX15 のみ）



本機を運搬するときは必ず USB メモリーを取り外して移動してください。取り付けたままで移動すると、USB メモリーや本機に損害を与える原因となることがあります。

アジャスター調整時に指を挟まない



アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

充分に冷えた状態でキャリングケースに収納する



本機の電源を切った直後にキャリングケースなどに本機を収納すると、熱がこもるためキャビネットの温度が上がる場合があります。充分に冷えた状態でキャリングケースに収納してください。
使用直後にキャリングケースに収納し、すぐに本機を取り出す時は排気口近くを掴まないようにご注意ください。やけどなどの原因となる場合があります。

本製品を使用中に他の機器の電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない（VPL-DX15 のみ）



ワイヤレス機能の使用を中止してください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない（VPL-DX15 のみ）



ワイヤレス機能の使用を中止してください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（+）と（−）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には､内部圧力の高い水銀ランプを使用しています｡高圧水銀ランプには､つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う


高温

電源を切った直後はランプが高温になっており､さわるとやけどの原因となることがあります｡ランプ交換の際は､**電源を切ってから1時間以上**たって､充分にランプが冷えてから行ってください。

ランプ収納部に金属類や燃えやすい異物を入れない


火災


感電

ランプを取りはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください｡火災や感電の原因となります｡また､やけどの危険がありますので手を入れないでください。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

排気口をのぞかない



光が目に入り、悪影響を与えることがあります。
万一ランプが破裂した場合、ガラス片が飛散する可能性があり、けがの原因となることがあります。

本機または使用済みランプを廃棄する場合

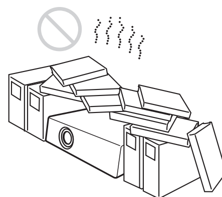
本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

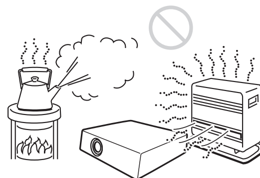
次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所



- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にランプオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から 30cm 以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

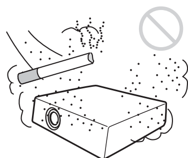
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所



ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアーフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアーフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

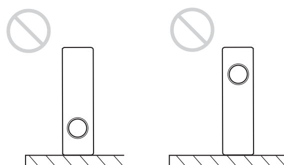
標高の高い場所で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、初期設定メニューの高地モードを「入」にしてください。そのままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

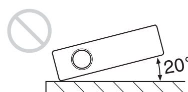
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない



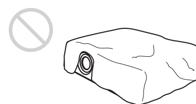
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない



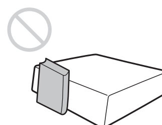
プロジェクターを 20 度以上左右に傾けてお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない



吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない



投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、消画機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**
また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投射する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。
- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターのお手入れについて

- 必ず定期的にエアーフィルターのクリーニングをしてください。
- クリーニング方法については、“エアーフィルターをクリーニングする”をご参照ください。

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

警告

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

お客様へ

各国 / 地域の声明文は、その国 / 地域で販売された機器に適用されます。

VPL-DX15 のみ

本機器には技術基準適合証明を受けた特定無線設備が組み込まれています。

日本国内で無線 LAN を使用する場合の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）して下さい。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、付属の取扱説明書に記載のソニーの相談窓口にお問い合わせ下さい。

2.4DS4/OF4

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2412 から 2462 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

5GHz 帯の無線 LAN を使用する場合の注意

5GHz 帯の無線 LAN は、電波法の規制により、屋外および日本国外では使用できません。

CD-ROM取扱説明書の見かた

付属のCD-ROMには、ReadMeおよび取扱説明書が収録されています(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ロシア語)。まず最初にReadMeをご覧ください。

準備

付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降が必要です。Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。(無料)

取扱説明書を読むには

付属のCD-ROMを、コンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。しばらくすると、CD-ROMが自動的に起動します。読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROMの中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROMが自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

(Windowsの場合)

① 「マイコンピュータ」を開く。
② 「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

(Macintoshの場合)

① デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
② 「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htmファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

画像を映す

映す

❶ I/⏻ キーを押す。

❷ 接続している機器の電源を入れる。

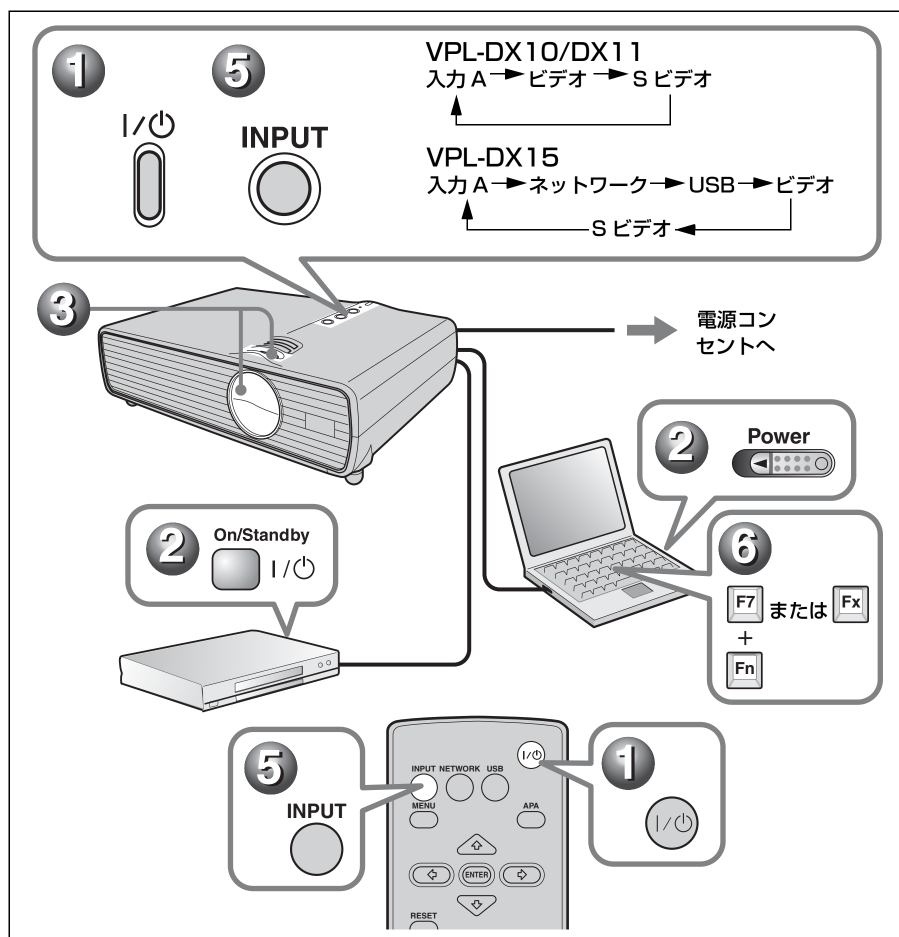
❸ レンズシャッターレバーを動かし、レンズシャッターを開く。

❹ 画像の位置や大きさを調整する。

13 ページをご覧ください。

❺ リモートコマンダーまたはコントロールパネルの INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

❻ コンピューターとの接続時は映像信号の出力先を切り換える。



調整する

❶ **画像の上下の位置を調整する。**

アジャスターを使って、プロジェクターの傾きを調整します。アジャスターで高さを調整すると、V キーストーン補正が自動的に働きます。

① アジャスター調整ボタンを押す。

② プロジェクターを持ち上げて角度を調整する。

③ アジャスター調整ボタンをはなす。

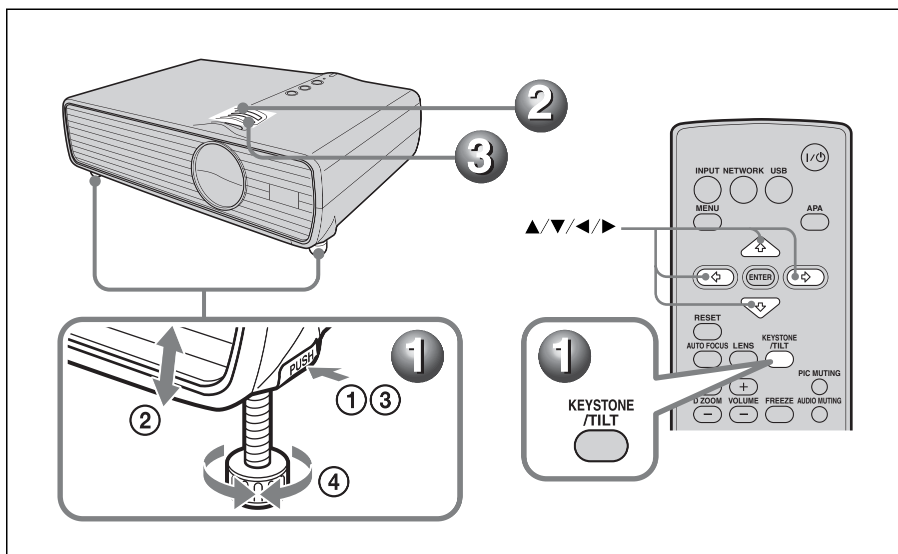
④ 微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整する。

手動で調整する場合

リモートコマンダーの KEYSTONE/TILT キーを押して傾き調整メニューを表示し、▲/▼/◀/▶ キーで調整します。

❷ **ズームリングで画像の大きさを調整する。**

❸ **フォーカスリングで画像のフォーカスを調整する。**



電源を切る

1 **I/⏻ キーを押す。**

2 **メッセージが表示されたらもう一度 I/⏻ キーを押す。**

3 **ファンが止まり、I/⏻ キーが赤く点灯したら、電源コードを抜く。**

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

- 光源のランプが切れたとき
- 光源のランプが暗くなったとき
- 「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたとき
- LAMP/COVER インジケーターが点滅（3回点滅パターンのくり返し）したとき（ただし、他の原因も考えられますので20ページを参照してください。）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。

交換ランプは、別売りのプロジェクターランプLMP-D200をお使いください。

それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

⚠警告

I/⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、本機の電源を切ってから1時間以上**たってから行ってください。

⚠注意

- ランプが破損している場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
- ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

ご注意

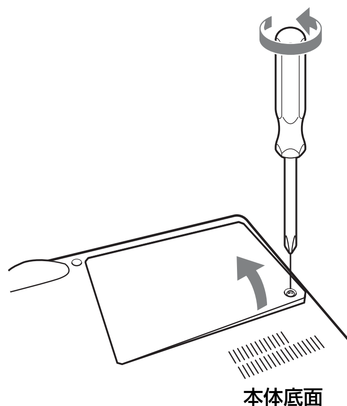
本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1時間以上たってからランプを交換してください。

2 本機や机に傷がつかないよう布などを敷き、その上で本機を裏返す。

ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

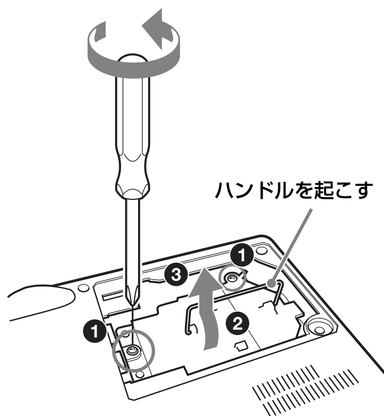
3 ランプカバーのネジ（1本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開く。



ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

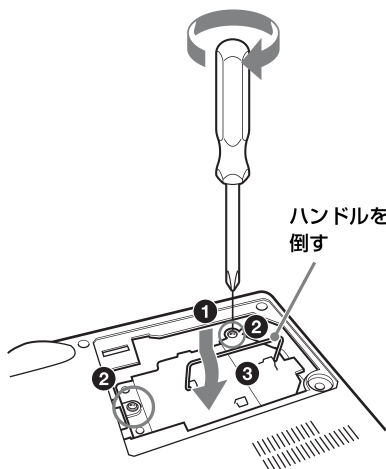
4 **ランプのネジ (2 本) をプラスドライバーでゆるめ（❶)、取り出し用ハンドルを起こし（❷）ハンドルを持ってランプを引き出す（❸)。**



⚠警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

5 **新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶)、ネジ（2 本）を締め（❷)、取り出し用ハンドルを倒して元に戻す（❸)。**



ご注意

・ランプのガラス面および導線部には触れないようご注意ください。
・ハンドルはしっかりと押し込み、確実に固定させてください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 **ランプカバーを閉め、ネジ（1 本）を締める。**

ご注意

ランプカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

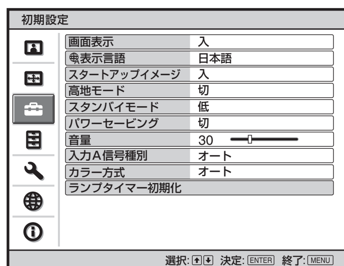
7 **本機の向きを元にもどす。**

8 **電源コードを接続する。**
I/⏻ キーが赤色に点灯します。

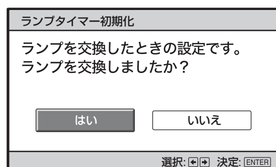
9 **I/⏻ キーを押して電源を入れる。**

10 **MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。**

11「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。



「ランプを交換したときの設定です。ランプを交換しましたか？」というメッセージが表示されます。



12◀ キーで「はい」を選び、ENTER キーを押す。

ランプタイマーが 0 に初期化され、「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

エアーフィルターをクリーニングする

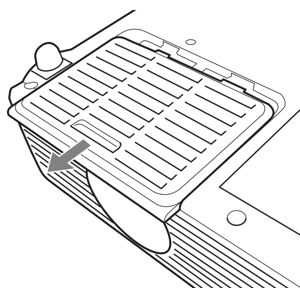
約 500 時間の使用ごとにエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターカバーを取りはずし、中性洗剤で掃除してください。

また、クリーニング時期は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 本機や机に傷がつかないように布などを敷き、その上で本機を裏返す。

3 エアーフィルターカバーをはずす。



本体底面

4 内側のフィルターをはずし、中性洗剤でフィルターの汚れを拭きとる。

5 フィルターをエアフィルターカバーに戻す。

6 エアーフィルターカバーをもとの位置に差し込んで取り付ける。

ご注意

- エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。症状について詳しくは、CD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・電源ケーブルがはずれている。 ➔電源ケーブルをしっかりと接続してください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・電源が入っていない。 ➔電源を入れてください。 ・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。 ・レンズシャッターが閉じている ➔レンズシャッターを開けてください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔投影する映像を正しく選んでください。 ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔PIC MUTINGキーを押して、ミューティングを解除してください。 ・お使いのコンピューターの出力信号が外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。
画面にノイズが出る。	接続ケーブルが正しく接続されていない。 ➔接続ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。

症状	原因と対処
色がおかしい。	・画質の設定がおかしい。 ➔画質設定メニューで画質の調整をしてください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。 ・初期設定メニューの「入力 A 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 A 信号種別」で「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。 ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質設定メニューで正しく設定してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。 ・ランプが消耗している。 ➔情報メニューの「ランプ使用時間」を確認してください。
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。 ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	・画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してからAPAキーを押してください。 ・スクリーンの設定がおかしい。 ➔スクリーン設定メニューの「シフト」を調整してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。
画面がちらつく。	スクリーンの設定がおかしい。 ➔スクリーン設定メニューの「フェーズ」を調整してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。
画面のアスペクトが合っていない。	スクリーンの設定がおかしい。 ➔スクリーン設定メニューの「アスペクト」を調整してください。 ➔お買い上げ時の設定に戻すことができます。

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。 ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。 ・音声が消音（ミューティング）されている。 ➔AUDIO MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。 ・音量が正しく調整されてない。 ➔リモートコマンダーのVOLUME +/－キーで正しく調整してください。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（2回点滅パターンのくり返し）	・ランプカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりとはめてください。
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（3回点滅パターンのくり返し）	・セット内部が高温になり、温度センサーが働いた。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・ランプが高温になっている。 ➔90 秒以上たってランプが冷えてからもう 1 度電源を入れてください。 上記を試しても症状が再発する場合は、次のことが考えられます。 ・ランプの交換時期が来たためランプを交換する必要がある。 ・セット内部が高温になり温度ヒューズが切れている。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。（2 回点滅パターンのくり返し）	・内部が高温になっている。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔高地モードが「入」に設定されているか確認してください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。（4 回点滅パターンのくり返し）	ファンが故障している。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。（6 回点滅パターンのくり返し）	電源コードを抜いて、I/⏻ キーが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障しているか、セット内部が高温になり、温度ヒューズが切れている。 ➔お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

主な仕様

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色光シャッター方式
LCD パネル　0.63 型（16.0 mm）XGA パネル、約 236 万画素（786,432 × 3）
レンズ　1.2 倍ズームレンズ
f 18.63 〜 22.36 mm
F1.65 〜 1.8
ランプ　200 W 高圧水銀ランプ
投影画面サイズ
40 〜 300 型
（1,016 mm 〜 7,620 mm）
光出力　VPL-DX10：2500 lm[1)]
VPL-DX11/DX15：3000 lm
（ランプモード 高のとき）

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離　付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書の「設置と設置寸法」をご覧ください。
カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）
解像度　水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）
対応コンピューター信号[2)]
fH: 19 kHz 〜 80 kHz、fV: 48 Hz 〜 92 Hz
（最高入力解像度信号：SXGA+ 1400 × 1050
fV: 60 Hz）

2) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15 k RGB、コンポーネント 50/60 Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60 Hz、DTV（480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i）、コンポジットビデオ、Y/C
外形寸法　約 295 × 74 × 204 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）
質量　VPL-DX10/DX11：約 2 .1 kg
VPL-DX15：約 2 .2 kg
電源　AC 100 V、3.6 A、50/60 Hz
消費電力　VPL-DX15：最大 320 W
スタンバイ時(標準):10.5 W
スタンバイ時(低):1.0 W 未満
VPL-DX10/DX11：
最大 320 W
スタンバイ時(標準):5.5 W
スタンバイ時(低):1.0 W 未満
動作温度　0 ℃〜＋ 35 ℃
付属品　リモートコマンダー（1）
リチウム電池 CR2025（1）
HD D-sub 15 ピンケーブル（2 m）（1）（1-791-992-51/Sony）または（1-791-992-61/Sony）
キャリングケース（1）
電源コード（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）
簡易説明書（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）
ワイヤレスラベル（1）（VPL-DX15 のみ）

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売りアクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-D200 (交換用)
プレゼンテーションツール
RM-PJPK1

別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。
ソニーの相談窓口に確認してください。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

WARNING
THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

Notice for customers

The statements for each country/area are only applicable to equipment sold in that country/area.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SVT, three **18 AWG** wires
Length	Minimum 1.5 m (4 ft. 11 in.), Less than 2.4 m (7 ft. 9 in.)
Rating	Minimum **7 A, 125 V**

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.

To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
-Reorient or relocate the receiving antenna.
-Increase the separation between the equipment and receiver.
-Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
-Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

If you have any questions about this product, you may call;

Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name: SONY
Model: VPL-DX10
VPL-DX11
VPL-DX15
Responsible party:
Sony Electronics Inc.
Address: 16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127U.S.A.
Telephone Number:
858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See
www.dtsc. ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material: Lithium battery contains perchlorate.

For the customers in Taiwan only



廢電池請回收

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

For the Customers in Brazil only

DESCARTE DE PILHAS E BATERIAS

Após o uso, as pilhas e/ou baterias poderão ser entregues ao estabelecimento comercial ou rede de assistência técnica autorizada.



Bateria Primária

Atenção:

Verifique as instruções de uso do aparelho certificando-se de que as polaridades (+) e (-) estão no sentido indicado. As pilhas

poderão vazar ou explodir se as polaridades forem invertidas, expostas ao fogo, desmontadas ou recarregadas.

Evite misturar com pilhas de outro tipo ou com pilhas usadas, transportá-las ou armazená-las soltas, pois aumenta o risco de vazamento.

Retire as pilhas caso o aparelho não esteja sendo utilizado, para evitar possíveis danos na eventualidade de ocorrer vazamento.

As pilhas devem ser armazenadas em local seco e ventilado.

No caso de vazamento da pilha, evite o contato com a mesma. Lave qualquer parte do corpo afetado com água abundante. Ocorrendo irritação, procure auxílio médico.

Não remova o invólucro da pilha.

Mantenha fora do alcance das crianças. Em caso de ingestão procure auxílio médico imediatamente.

For VPL-DX15 only

For the customers in the U.S.A. and Canada

This device complies with Part 15 of FCC Rules and RSS-Gen of IC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for uncontrolled equipment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines in Supplement C to OET65 and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment should be installed and operated with at least 20cm and more between the radiator and person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

For the customers in the U.S.A.

In according with 47 CFR Part15.407 (e) U-NII devices operating in 5.15-5.25GHz frequency bands are restricted to indoor operations only.
This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

For the customers in Europe

Notice for customers: the following information is only applicable to equipment sold in Countries applying EU directives.



This product is intended to be used in the following countries:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Bulgarian	С настоящето Сони Корпорация декларира, че този VPL-DX15/Data Projector отговаря на основните изисквания и другите сьответстващи клаузи на Директива 1999/5/ЕС. Подробности може да намерите на Интернет страницата : http://www.compliance.sony.de/.
Czech	Sony Corporation tímto prohlašuje, že tento VPL-DX15/Data Projector je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES. Podrobnosti lze získat na následující URL: http://www.compliance.sony.de/
Danish	Undertegnede Sony Corporation erklærer herved, at følgende udstyr VPL-DX15/Data Projector overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For yderligere information gå ind på følgende hjemmeside: http://www.compliance.sony.de/
Dutch	Hierbij verklaart Sony Corporation dat het toestel VPL-DX15/Data Projector in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG. Nadere informatie kunt u vinden op: http://www.compliance.sony.de/
English	Hereby, Sony Corporation, declares that this VPL-DX15/Data Projector is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. For details, please access the following URL: http://www.compliance.sony.de/

Estonian	Sony Corporation kinnitab käesolevaga seadme VPL-DX15/Data Projector vastavust 1999/5/EÜ direktiivi põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele. Üksikasjalikum info: http://www.compliance.sony.de/.
Finnish	Sony Corporation vakuuttaa täten että VPL-DX15/Data Projector tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen. Halutessasi lisätietoja, käy osoitteessa: http://www.compliance.sony.de/
French	Par la présente Sony Corporation déclare que l'appareil VPL-DX15/Data Projector est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE. Pour toute information complémentaire, veuillez consulter l'URL suivante: http://www.compliance.sony.de/
German	Hiermit erklärt Sony Corporation, dass sich das Gerät VPL-DX15/Data Projector in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet. Weitere Informationen erhältlich unter: http://www.compliance.sony.de/
Greek	Με την παρούσα η Sony Corporation δηλώνει ότι VPL-DX15/Data Projector συμμο ρφώνεται προς της ουσιώδεις απαιτήσεις και τις λοιπές σχετικές διατάξεις της οδηγίας 1999/5/ΕΚ. Για λεπτομέρειες παρακαλούμε όπως ελένξετε την ακόλουθη σελίδα του διαδ ικτύου: http://www.compliance.sony.de/
Hungarian	Alulírott, Sony Corporation nyilatkozom, hogy a(z) VPL-DX15/Data Projector megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak. További információkat a következő weboldalon találhat: http://www.compliance.sony.de/
Italian	Con la presente Sony Corporation dichiara che questo VPL-DX15/Data Projector è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE. Per ulteriori dettagli, si prega di consultare il seguente URL: http://www.compliance.sony.de/
Latvian	Ar šo Sony Corporation deklarē, ka VPL-DX15/Data Projector atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem. Plašāka inform ācija ir pieejama: http://www.compliance.sony.de/
Lithuanian	Šiuo Sony Corporation deklaruoja, kad šis VPL-DX15/Data Projector atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas. Susipažinti su visu atitikties deklaracijos turiniu Jūs galite interneto tinklalapyje: http://www.compliance.sony.de/
Norwegian	Sony Corporation erklærer herved at utstyretVPL-DX15/Data Projector er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF. For flere detaljer, vennligst se: http://www.compliance.sony.de/
Polish	Niniejszym Sony Corporation oświadcza, że VPL-DX15/Data Projector jest zgodne z zasadniczymi wymaganiami oraz innymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/WE. Szczegółowe informacje znaleźć mozna pod następującym adresem URL: http:// www.compliance.sony.de/
Portuguese	Sony Corporation declara que este VPL-DX15/Data Projector está conforme os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE. Para mais informacoes, por favor consulte a seguinte URL: http://www.compliance.sony.de/

Romanian	Prin prezenta, Sony Corporation declară că acest VPL-DX15/Data Projector respectă cerinţele esenţiale şieste în conformitate cu prevederile Directivei 1999/5/EC. Pentru detalii, vă rugăm accesaţi următoarea adresă: http://www.compliance.sony.de/
Slovak	Sony Corporation týmto vyhlasuje, že VPL-DX15/Data Projector splňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES. Podrobnosti získate na nasledovnej webovej adrese: http://www.compliance.sony.de/
Slovenian	Sony Corporation izjavlja, da je ta VPL-DX15/Data Projector v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES. Za podrobnosti vas naprošamo, če pogledate na URL: http://www.compliance.sony.de/
Spanish	Por medio de la presente Sony Corporation declara que el VPL-DX15/Data Projector cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE. Para mayor información, por favor consulte el siguiente URL: http://www.compliance.sony.de/
Swedish	Härmed intygar Sony Corporation att denna VPL-DX15/Data Projector står I överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG. För ytterligare information gå in på följande hemsida: http://www.compliance.sony.de/

For the customers in France

The WLAN feature of this Data Projector shall exclusively be used inside buildings.

For the customers in Italy

Use of the RLAN network is governed:

- with respect to private use, by the Legislative Decree of 1.8.2003, no. 259 (“Code of Electronic Communications”). In particular Article 104 indicates when the prior obtainment of a general authorization is required and Art. 105 indicates when free use is permitted;
- with respect to the supply to the public of the RLAN access to telecom networks and services, by the Ministerial Decree 28.5.2003, as amended, and Art. 25 (general authorization for electronic communications networks and services) of the Code of electronic communications
- with respect to private use, by the Ministerial Decree 12.07.2007

For the customers in Cyprus

The end user must register the RLAN devices in the Department of Electronic Communications (P.I. 6/2006 and P.I. 6A/ 2006).

P.I. 6/2006 is the Radiocommunications (Categories of Stations Subject to General Authorization and Registration) Order of 2006.
P.I. 6A/2006 is the General Authorization for the use of Radiofrequencies by Radio Local area Networks and by Wireless Access Systems, including Radio Local Area Networks (WAS/RLAN).

Για τους πελάτες στην Κύπρο

Ο τελικός χρήστης πρέπει να εγγράψει τις συσκευές RLAN στο Τμήμα Ηλεκτρονικών Επικοινωνιών (ΚΔΠ. 6/2006 και ΚΔΠ. 6Α/2006).

Το ΚΔΠ. 6/2006 είναι το Διάταγμα περί Ραδιοεπικοινωνιών του 2006 (Κατηγορίες Ραδιοσυχνοτήτων Υποκείμενες σε Γενική Εξουσιοδότηση και Εγγραφή).
Το ΚΔΠ. 6Α/2006 αποτελεί τη Γενική Εξουσιοδότηση για τη χρήση ραδιοσυχνοτήτων από τοπικά ασύρματα δίκτυα και ασύρματα συστήματα πρόσβασης, συμπεριλαμβανομένων των τοπικών δικτύων επικοινωνιών (WAS/RLAN).

For the customers in Norway

Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund, Svalbard.

For kundene i Norge

Det er ikke tillatt å bruke dette radioutstyret innen en radius på 20 km fra sentrum av Ny-Ålesund, Svalbard.

For the customers in Taiwan

注意

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Precautions

On safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified Sony personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected from the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes (exhaust) — the air coming out is hot.
- Be careful not to catch your fingers by the adjuster when you adjust the height of the unit. Do not push hard on the top of the unit with the adjuster out.
- Be sure to grasp both sides of the unit with both hands when carrying the unit.

On illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the unit in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

On preventing internal heat build-up

The unit is equipped with ventilation holes (intake) at the bottom and ventilation holes (exhaust) at the side. Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the unit.

On cleaning

Before cleaning

Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet.

On cleaning the air filter

- Clean the air filter whenever you replace the lamp.
- Refer to the “Cleaning the Air Filter” for the air filter cleaning.

On cleaning the lens

The lens surface is especially treated to reduce reflection of light.
As incorrect maintenance may impair the performance of the projector, take care with respect to the following:

- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Wipe the lens gently with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth.
- Stubborn stains may be removed with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth lightly dampened with water.
- Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or chemical cleaning cloth, as they will damage the lens surface.

On cleaning the cabinet

- Clean the cabinet gently with a soft dry cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with mild detergent solution, followed by wiping with a soft dry cloth.
- Use of alcohol, benzene, thinner or insecticide may damage the finish of the cabinet or remove the indications on the cabinet. Do not use these chemicals.

- If you rub on the cabinet with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the cabinet is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the finish of the cabinet may deteriorate or the coating may come off.

On LCD projector

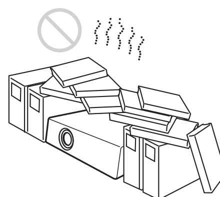
The LCD projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that continuously appear on the LCD projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.
Also, when you use multiple LCD projectors to project onto a screen, even if they are of the same model, the color reproduction among projectors may vary, since color balance may be set differently from one projector to the next.

Notes on Installation and Usage

Unsuitable Installation

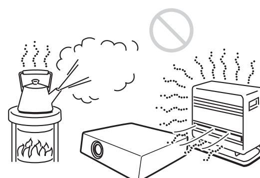
Do not install the unit in the following situations. **These installations may cause malfunction or damage** to the unit.

Poorly ventilated



- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- When the internal heat builds up due to the block-up, the temperature sensor will function with the message “High temp.! Lamp off in 1 min.” The power will be turned off automatically after one minute.
- Leave space of more than 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ inches) around the unit.
- Be careful that the ventilation holes may inhale tininess such as a piece of paper.

Highly heated and humid



- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

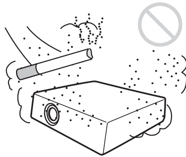
Subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing in such a location may cause malfunction of the unit due to moisture condensation or rise in temperature.

Near a heat or smoke sensor

Malfunction of the sensor may be caused.

Very dusty, extremely smoky



Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit. Clean the air filter whenever you replace the lamp.

Usage in High Altitude

When using the unit at an altitude of 1,500 m or higher, set the “High Altitude Mode” to “On” in the Setup menu. Failing to set this mode when using the unit at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

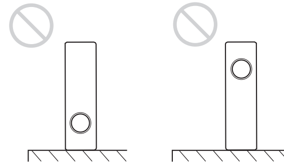
Note on the screen

When using a screen with an uneven surface, stripes pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the unit or the zooming magnifications. This is not a malfunction of the unit.

Unsuitable Conditions

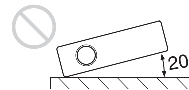
Do not use the unit under the following conditions.

Do not topple the unit



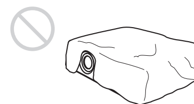
Avoid using as the unit topples over on its side. It may cause malfunction.

Do not tilt right/left



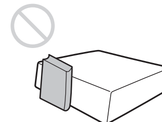
Avoid using as the unit tilts right or left more than 20 degrees. These installations may cause malfunction.

Do not block the ventilation holes



Avoid using something to cover over the ventilation holes (exhaust/intake); otherwise, the internal heat may build up.

Do not place a blocking object just in front of the lens



Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the picture muting function key to cut off the picture.

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions and ReadMe file in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish, Chinese and Russian. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.
The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open "My Computer."

② Right-click the CD-ROM icon and select "Explorer."

③ Double-click "index.htm" file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.

② Double-click "index.htm" file and select the Operating Instructions you want to read.

Note

If you cannot open "index.htm" file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in "Operating_Instructions" folder.

Projecting

Projecting

❶ **Press the I/⏻ key.**

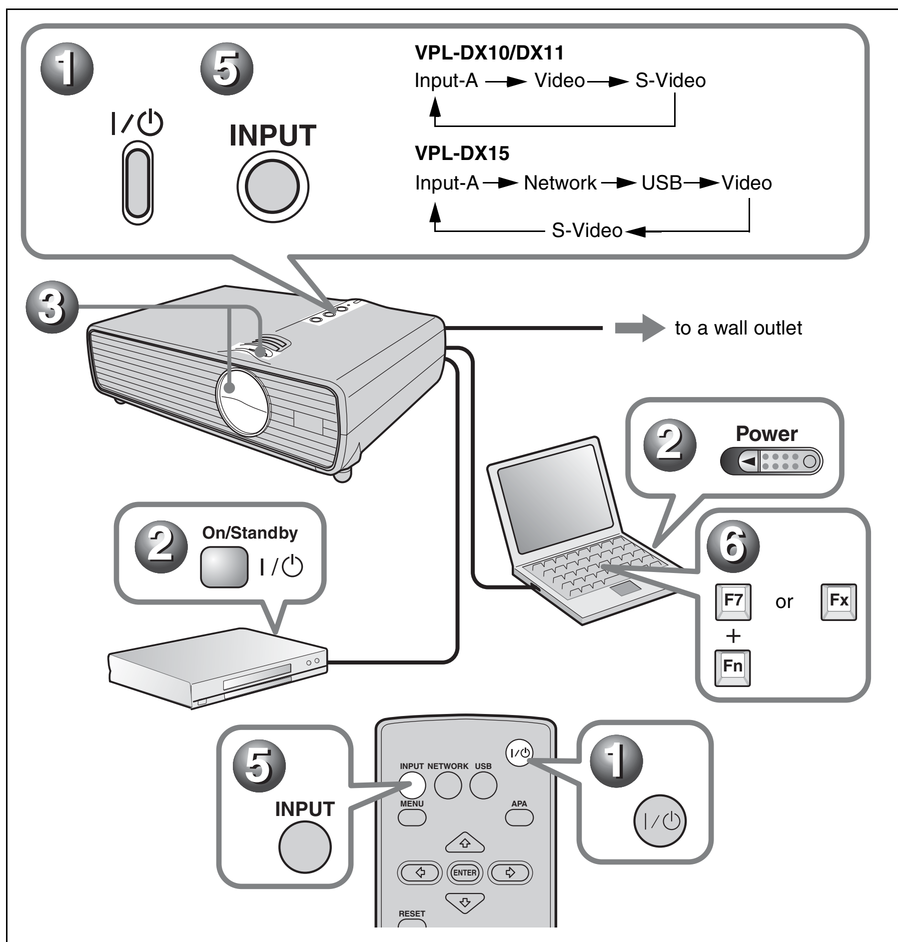
❷ **Turn on the equipment connected to the projector.**

❸ **Move the lens shutter lever to open the lens shutter.**

❹ **Adjust the picture position, size, and focus.**
See "Adjusting the Projector" on page 14.

❺ **Press the INPUT key on the Remote Commander or the control panel to select the input source.**

❻ **When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.**



Adjusting the Projector

❶ Adjust the tilt (upper or lower position of the picture) of the projector with the adjusters.

When you adjust the tilt with the adjusters, the V keystone adjustment is performed automatically.

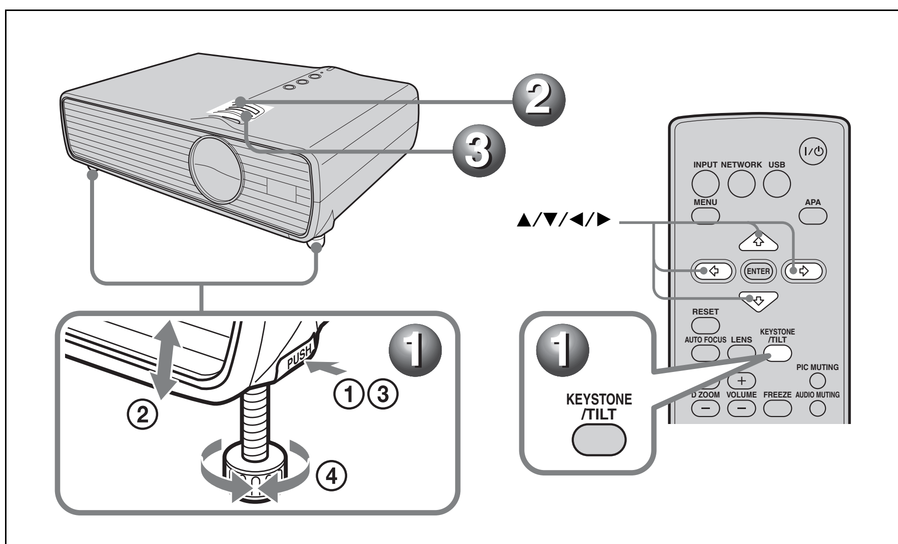
①Lift the projector while holding the Adjuster button pressed.
②Adjust the tilt of the projector.
③Release the Adjuster button.
④When fine-tuning is necessary, turn the Adjuster right and left.

To adjust the tilt manually

Press the KEYSTONE/TILT key on the Remote Commander to display the TILT menu and adjust the tilt using the ▲/▼/◀/▶ keys.

❷ Adjust the size of the picture with the Zoom ring.

❸ Adjust the focus with the Focus ring.



Turning off the Power

1 Press the I/⏻ key.

2 When a message appears, press the I/⏻ key again.

3 Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan has stopped running and the I/⏻ key has lit in red.

Replacing the Lamp

The lamp used as a light source is a consumable product. Thus, replace the lamp with a new one in the following cases.
- When the lamp has burnt out or dims
- "Please replace the Lamp." appears on the screen
- The LAMP/COVER indicator flashes in orange (Repetition rate of 3 flashes) (Refer to page 19 for another possible cause.)

The lamp life varies depending on conditions of use.
Use an LMP-D200 Projector Lamp as the replacement lamp.
Use of any other lamps than the LMP-D200 may cause damage to the projector.

Caution

The lamp remains not after the projector is turned off with the I/⏻ key. **If you touch the lamp, you may burn your finger. When you replace the lamp, wait for at least an hour for the lamp to cool.**

Notes

- **If the lamp breaks, contact qualified Sony personnel.**
- Pull out the lamp by holding the handle. If you touch the lamp, you may be burned or injured.
- When removing the lamp, make sure it remains horizontal, then pull straight up. Do not tilt the lamp. If you pull out the lamp while it is tilted and if the lamp breaks, the pieces may scatter, causing injury.

1. Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

   Note

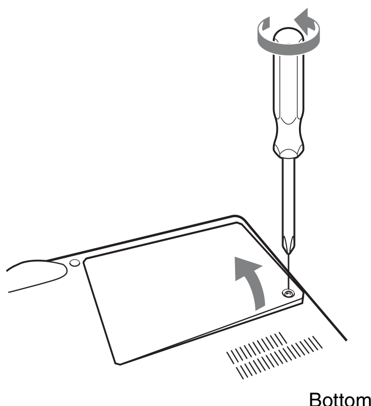
   When replacing the lamp after using the projector, wait for at least an hour for the lamp to cool.

2. Place a protective sheet (cloth) beneath the projector. Turn the projector over so you can see its underside.

   Note

   Be sure that the projector is stable after turning it over.

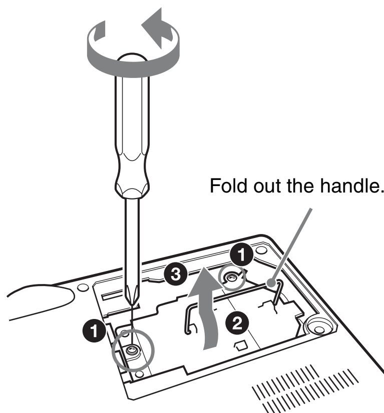
3. Open the lamp cover by loosening the screw with a Phillips screwdriver.



   Note

   For safety reasons, do not loosen any other screws.

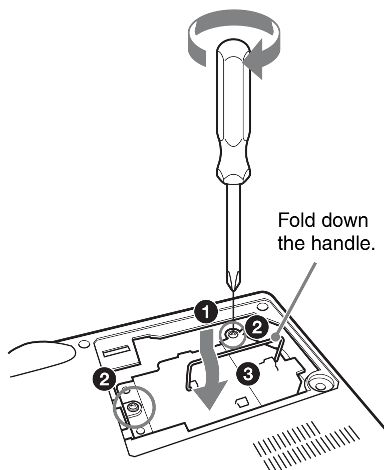
4. Loosen the two screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver (❶). Fold out the handle (❷), then pull out the lamp unit by the handle (❸).



Caution

Do not put your hands into the lamp replacement slot, and do not allow any liquid or other objects into the slot **to avoid electrical shock or fire**.

5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place (❶). Tighten the two screws (❷). Fold down the handle to replace it (❸).



Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp and a inside conductor.
- Insert the handle firmly to attach it securely.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.

6 Close the lamp cover and tighten the screw.

Note

Be sure to attach the lamp cover securely as it was. If not, the projector cannot be turned on.

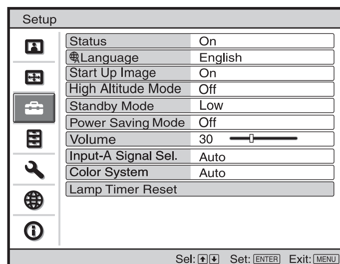
7 Turn the projector back over.

8 Connect the power cord.
The I/⏻ key lights in red.

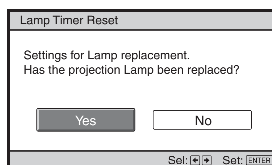
9 Press the I/⏻ key to turn the projector on.

10 Press the MENU key, and then select the Setup menu.

11 Select "Lamp Timer Reset", and then press the ENTER key.



"Settings for Lamp replacement. Has the projection Lamp been replaced?" is displayed in the menu screen.



12 Select "Yes" with the ◀ key, and then press the ENTER key.
The Lamp Timer is initialized to 0, "Lamp Timer Reset Complete!" is displayed in the menu screen.

Disposal of the used lamp

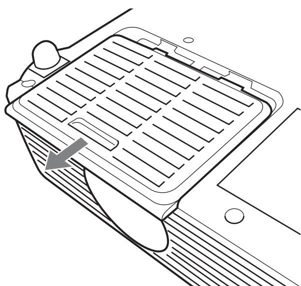
For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Telecommunications Industry Association (www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

The air filter should be cleaned after approximately 500 hours use. Remove the air filter cover then remove the dust with a cloth lightly dampened with mild detergent solution.
The time needed to clean the air filter will vary depending on the environment or how the projector is used.

1. Turn the power off and unplug the AC power cord.
2. Place a protective sheet (cloth) beneath the projector and turn the projector over.
3. Remove the air filter cover.



Bottom

4. Remove the filter inside, and then wipe its dust with mild detergent.
5. Return the filter to the air filter cover.
6. Return the air filter cover.

Notes

- If the dust cannot be removed from the air filter, replace the air filter with a new one.
- For details on new air filter, consult with qualified Sony personnel.
- Be sure to attach the air filter cover firmly; it may cause a problem if the air filter cover is not installed properly.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Power

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The AC power cable is not connected. ➔ Connect the AC power cable firmly. • The lamp or lamp cover is not secured. ➔ Close the lamp or lamp cover securely.

Picture

Symptom	Cause and Remedy
No picture.	• The power is not turned on. ➔ Turn on the power. • A cable is disconnected or the connections are wrong. ➔ Check that the proper connections have been made. • The Lens shutter is closed. ➔ Open the Lens shutter. • Input selection is incorrect. ➔ Select the input source correctly. • The picture is muted. ➔ Press the PIC MUTING key to release the picture muting. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. ➔ Set the computer signal to output only to an external monitor .
The picture is noisy.	The connecting cable may not be connected properly. ➔ Check if the connecting cable is connected properly.
On-screen display does not appear.	"Status" in the Setup menu has been set to "Off." ➔ Set "Status" in the Setup menu to "On".
Color balance is incorrect.	• The image quality setting is not proper. ➔ Set the image quality on the Picture menu. ➔ You can reset all values to default. • The setting of "Input-A Signal Sel." in the Setup menu is incorrect. ➔ Select "Computer," "Video GBR" or "Component" correctly according to the input signal. • The projector is set to the wrong color system. ➔ Set "Color System" in the Setup menu to match the color system being input.
The picture is too dark.	• Contrast or brightness has not been adjusted properly. ➔ Adjust the Contrast or Brightness in the Picture menu properly. ➔ You can reset all values to default. • The lamp has burnt out or is dim. ➔ Check "Lamp Timer" on the Information menu.

Symptom	Cause and Remedy
The picture is not clear.	• The picture is out of focus. → Adjust the focus. • Condensation has accumulated on the lens. → Leave the projector for about two hours with the power on.
The image extends beyond the screen.	• The APA key has been pressed even though there are black edges around the image. → Display the full image on the screen and press the APA key. • The screen setting is not proper. → Adjust "Shift" on the Screen setting menu. → You can reset all values to default.
The picture flickers.	• The screen setting is not proper. → Adjust "Phase" on Screen setting menu. → You can reset all values to default.
The aspect ratio of the display is not right.	• The screen setting is not proper. → Adjust "Aspect" on the Screen setting menu. → You can reset all values to default.

Sound

Symptom	Cause and Remedy
No sound.	• A cable is disconnected or the connections are wrong. → Check that the proper connections have been made. • The audio connecting cable used is incorrect. → Use a no-resistance stereo audio cable. • The sound is muted. → Press the AUDIO MUTING key to release audio muting . • The sound is not adjusted properly. → Adjust the sound with the VOLUME +/– key on the Remote Commander.

Indicators

Symptom	Cause and Remedy
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 2 flashes)	The lamp cover is detached. → Attach the cover securely.
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 3 flashes)	• The interior of the unit reached a high temperature, and the temperature sensor has been activated. → Check to see that nothing is blocking the fresh-air inlet and exhaust outlet. • The lamp has reached a high temperature. → Wait for 90 seconds for the lamp to cool then turn on the power again. After you have checked the items above, if any of the troubles recur, the following causes are possible: • The lamp must be replaced, because it has reached the end of its service life. • The interior of the unit reached a high temperature, and the temperature fuse burned out. → Consult with qualified Sony personnel.

Symptom	Cause and Remedy
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 2 flashes)	• The internal temperature is unusually high. ➔ Check to see that nothing is blocking the ventilation holes. • The projector is being used at a high altitude. ➔ Ensure that "High Altitude Mode" in the Setup menu is set to "On."
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 4 flashes)	The fan is broken. ➔ Consult with qualified Sony personnel.
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 6 flashes)	Unplug the AC power cord from the wall outlet after the I/⏻ key goes out, plug the power cord to the wall outlet, and then turn the projector on again. If the I/⏻ key flashes in red and the problem persists, the electrical system has failed. Or the interior of the unit reached a high temperature, and the temperature fuse has burned out. ➔ Consult with qualified Sony personnel.

Specifications

Projection system
: 3 LCD panels, 1 lens, projection system

LCD panel: 0.63-inch (16.0 mm) XGA panel, approximately 2,360,000 pixels (786,432 pixels × 3)

Lens: 1.2 times zoom lens
f 18.63 mm to 22.36 mm/ F1.65 to 1.8

Lamp: 200 W Ultra High Pressure mercury lamp

Projected picture size (measured diagonally)
40 inches to 300 inches (1,016 mm to 7,620 mm)

Light output: VPL-DX10: 2500 lumen
VPL-DX11/DX15: 3000 lumen
(When the Lamp Mode is set to "High.")

Throwing distance
Refer to "Installing the Projector and Installation Diagram" in "Operating Instructions" included on the supplied CD-ROM.

Color system: NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/ PAL60 system, switched automatically/manually
(NTSC4.43 is the color system used when playing back a video recorded in NTSC on a NTSC4.43 system VCR.)

Resolution: 750 horizontal TV lines (Video input)
1,024 × 768 dots (RGB input)

Acceptable computer signals[1]
fH: 19 kHz to 80 kHz
fV: 48 Hz to 92 Hz
(Maximum input signal resolution: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

[1] Set the resolution and the frequency of the signal of the connected computer within the range of acceptable preset signals of the projector.

Applicable video signals
15 k RGB, Component 50/60 Hz, Progressive component 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Composite video, Y/C

Dimensions: Approx. 295 × 74 × 204 mm (11 5/8 × 2 29/32 × 8 1/32 inches) (w/h/d) (without projecting parts)

Mass: VPL-DX10/DX11: Approx. 2.1 kg (4 lb 11 oz)
VPL-DX15: Approx. 2.2 kg (4 lb 14 oz)

Power requirements
AC 100 V to 240 V, 3.6 A to 1.6 A, 50/60 Hz

Power consumption
VPL-DX15: Max. 320 W
in standby (Standard): 10.5 W
in standby (Low): less than 1.0 W
VPL-DX10/DX11: Max. 320 W
in standby (Standard): 5.5 W
in standby (Low): less than 1.0 W

Operating temperature
0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)

Supplied accessories
Remote Commander (1)
Lithium battery CR2025 (1)
HD D-sub 15 pin cable (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony) or (1-791-992-61/Sony)
Carrying case (1)
AC power cord (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)
Quick Reference Manual (1)
Security Label (1)

Design and specifications of the unit, including the optional accessories, are subject to change without notice.

Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Optional accessories

Projector Lamp
LMP-D200 (for replacement)

Presentation Tool
RM-PJPK1

Not all optional accessories are available in all countries and area.
Please check with your local Sony Authorized Dealer.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT
CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

Notice pour les clients

Les énoncés relatifs à chaque pays/région ne sont applicables qu'aux équipements vendus dans le pays/la région concerné(e).

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

AVERTISSEMENT

1 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2 Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie.
Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

Uniquement pour le VPL-DX15

Pour les clients au Canada

Cet appareil est conforme à l'article 15 des réglementations de la FCC et RSS-Gen des réglementations IC (Industrie Canada). Son opération est sujette aux deux conditions suivantes : (1) cet appareil ne peut pas causer des interférences nuisibles, et (2) cet appareil doit accepter toutes les interférences reçues, y compris celles qui peuvent causer un fonctionnement non désiré.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux radiations imposées pour tous les équipements non contrôlés, et est conforme aux directives sur les expositions aux fréquences radio (FR) du supplément C du DET65 et aux réglementations IC des expositions aux fréquences radio (FR) RSS-102. Cet équipement devrait être installé et utilisé avec une distance minimale de 20 cm entre le dispositif émettant des radiations et le corps de l'utilisateur (les extrémités ne sont pas incluses : mains, poignets, pieds et chevilles).

Pour les clients en Europe

Notice pour les clients : Les informations suivantes ne sont applicables qu'aux équipements vendus dans les pays appliquant les directives de l'union européenne.



Ce produit est conçu pour être utilisé dans les pays suivants :

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Par la présente Sony Corporation déclare que l'appareil VPL-DX15/Data Projector est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE. Pour toute information complémentaire, veuillez consulter l'URL suivante: http://www.compliance.sony.de/

Pour les clients en France

La fonction WLAN de cet appareil (Data Projector) doit exclusivement être utilisée à l'intérieur.

Pour les clients en Italie

L'utilisation des réseaux RLAN est régie :

- en ce qui concerne l'utilisation à des fins privées, par le Décret législatif du 1er août 2003, No. 259 (« Code des communications électroniques »). En particulier, l'Article 104 qui stipule quand l'obtention préalable d'une autorisation générale est requise, et l'Article 105 qui précise quand une utilisation libre est permise ;
- en ce qui concerne la fourniture au public d'un accès RLAN aux réseaux et services de télécommunications, par le Décret ministériel du 28 mai 2003, et de l'Article 25 (autorisation générale pour les réseaux et services de communications électroniques) du Code des communications électroniques ;
- en ce qui concerne l'utilisation à des fins privées, par le Décret ministériel du 12 juillet 2007.

Pour les clients en Chypre

L'utilisateur final doit enregistrer les périphériques RLAN auprès du Département des communications électroniques (P.I. 6/2006 et P.I. 6A/2006).

P.I. 6/2006 représente l'Ordre des communications radio (Catégories des stations sujettes à une autorisation et un enregistrement généraux) de 2006.
P.I. 6A/2006 représente l'Autorisation générale pour l'utilisation des fréquences radio par les réseaux locaux radio (RLAN) et par les systèmes d'accès sans fil (WAS).

Pour les clients en Norvège

L'utilisation de cet équipement radio n'est pas permise dans la zone géographique située à l'intérieur d'un rayon de 20 km du centre de Ny-Ålesund, Svalbard.

Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet solide pénètre dans le coffret, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien Sony agréé avant de poursuivre l'utilisation.
- Débranchez le projecteur de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, le tirer par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- L'appareil demeure connecté à la source d'alimentation secteur tant qu'il est branché sur la prise murale, et ce même si l'appareil est éteint.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne mettez pas la main et ne posez aucun objet près des orifices de ventilation (sortie dáir); l'air qui s'en échappe est très chaud.
- Prenez garde de vous coincer les doigts dans le dispositif de réglage lorsque vous réglez la hauteur de l'appareil. Ne exercez pas une pression forte sur le dessus de l'appareil alors que le dispositif de réglage est sorti.
- Saisissez les deux cotés de l'appareil avec les deux mains pour le transporter.

Éclairage

- Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement de sol et mural par un de couleur sombre.

Prévenir l'accumulation de chaleur interne

L'appareil est équipé d'orifices de ventilation sur sa face inférieure (entrée d'air) et sur le côté (sortie d'air). Évitez de bloquer ces orifices ou de placer quoi que ce soit à proximité, autrement la chaleur risque de s'accumuler à l'intérieur de l'appareil, causant une dégradation de l'image ou endommageant l'appareil.

Nettoyage

Avant le nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation de la prise de courant alternatif.

Nettoyage du filtre à air

- Nettoyez le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.
- Reportez-vous à « Nettoyage du filtre à air » pour le nettoyage du filtre à air.

Nettoyage de l'objectif

La surface de l'objectif a été soumise à un traitement spécial, destiné à réduire la réflexion de la lumière.
Un entretien incorrect peut réduire les performances du projecteur. Veillez à ce qui suit :

- Ne touchez pas l'objectif. Pour dépoussiérer l'objectif, employez un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
- Passez un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) sur l'objectif, sans frotter.
- Éliminez les taches tenaces avec un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) légèrement imprégné d'eau.
- N'utilisez jamais de solvants tels que l'alcool, le benzène, les diluants ou les détergents acides, alcalins ou abrasifs, ni un chiffon de nettoyage chimique, car ils risqueraient d'endommager la surface de l'objectif.

Nettoyage du boîtier

- Nettoyez le boîtier avec un chiffon doux et sec sans frotter. Éliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez avec un chiffon doux sec.
- L'utilisation d'alcool, de benzène, de diluants ou d'insecticide risque d'endommager la finition du boîtier ou d'effacer les instructions indiquées sur ce dernier. N'utilisez pas ce type de produits chimiques.
- Si vous frottez le boîtier avec un chiffon sale, vous risquez de le griffer.
- En cas de contact prolongé du boîtier avec du caoutchouc ou de la résine vinylique, la finition risque de se détériorer ou le revêtement de se décoller.

Projecteur LCD

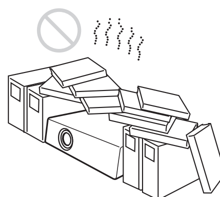
Le projecteur LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.
Si vous utilisez plusieurs projecteurs LCD pour projeter sur un écran, la reproduction des couleurs peut varier selon les projecteurs, même s'ils sont du même modèle. Ceci est dû au fait que l'équilibre des couleurs peut être réglé différemment sur les projecteurs.

Remarques sur l'installation et l'utilisation

Installation inadéquate

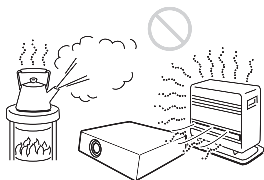
N'installez pas l'appareil dans les conditions suivantes. **Ces installations peuvent causer un dysfonctionnement de l'appareil ou l'endommager**.

Mauvaise ventilation



- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- Lorsque la chaleur s'accumule à l'intérieur de l'appareil en raison du blocage des orifices de ventilation, le capteur de température s'active et le message « Surchauffe! Lampe OFF 1 min. » s'affiche. L'appareil se mettra automatiquement hors tension au bout d'une minute.
- Laissez un dégagement de plus de 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ pouces) autour de l'appareil.
- Prenez garde que des petits objets, tels que des bouts de papier, ne soient aspirés par les orifices de ventilation.

Très chaud et humide



- N’installez pas le projecteur dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.
- Pour éviter la condensation d’humidité, n’installez pas le projecteur dans un endroit où la température est susceptible d’augmenter rapidement.

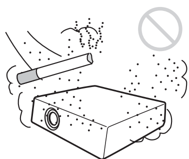
Exposé directement au flux d’air froid ou chaud d’un climatiseur

L’installation dans un tel emplacement peut causer un dysfonctionnement de l’appareil à cause de la condensation de l’humidité ou d’une hausse de température.

Proximité d’un capteur de chaleur ou de fumée

Cela peut causer un dysfonctionnement du capteur.

Très poussiéreux ou extrêmement enfumé



N’installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur. La poussière colmatée ferait obstacle au passage de l’air à travers le filtre et il en résulterait une surchauffe interne du projecteur. Nettoyez le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.

Utilisation à haute altitude

Si l’appareil est utilisé à une altitude de 1 500 m ou plus, réglez l’option « Mode haute altit. » sur « On » dans le menu Réglage. Si ce réglage du mode n’est pas effectué alors que l’on utilise l’appareil à haute altitude, des effets négatifs peuvent s’ensuivre, tels qu’une baisse de fiabilité de certains composants.

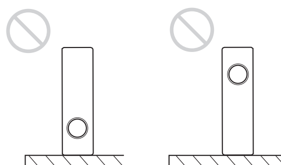
Remarque sur l’écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, que des motifs de lignes apparaissent sur l’écran suivant la distance qui sépare l’écran de l’appareil ou suivant le taux de grossissement du zoom. Il ne s’agit pas d’un dysfonctionnement de l’appareil.

Conditions déconseillées

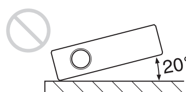
N’utilisez pas l’appareil dans les conditions suivantes.

Ne basculez pas l’appareil



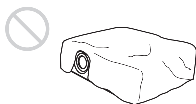
Évitez d’utiliser l’appareil en le faisant basculer sur le côté. Cela pourrait provoquer un dysfonctionnement.

N’inclinez pas vers la droite/gauche



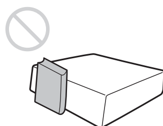
Évitez d’utiliser l’appareil en l’inclinant sur la droite ou la gauche de plus de 20 degrés. Tout autre type d’installation peut causer un dysfonctionnement.

Ne bloquez pas les orifices de ventilation



Évitez de recouvrir d'objets les orifices de ventilation (sortie/entrée), autrement la chaleur risque de s'accumuler à l'intérieur de l'appareil.

Ne placez aucun objet qui pouvait faire obstacle juste devant l'objectif



Ne placez pas des objets juste devant l'objectif pour éviter de bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque de les endommager. Utilisez la touche de masquage d'image pour couper l'image.

Utilisation des manuels sur CD-ROM

Le CD-ROM fourni comporte les modes d'emploi et le fichier ReadMe, en japonais, en anglais, en français, en allemand, en italien, en espagnol, en chinois et en russe. Veuillez tout d'abord consulter le fichier ReadMe.

Préparation

Pour pouvoir lire le mode d'emploi sur le CD-ROM, le logiciel Adobe Acrobat Reader 5.0, ou une version ultérieure, doit être installé. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger une version gratuite de ce logiciel depuis le site Internet de Adobe Systems.

Pour lire le mode d'emploi

Le mode d'emploi se trouve sur le CD-ROM fourni. Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur. Il démarrera automatiquement après quelques instants. Sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.
Sur certains ordinateurs le CD-ROM ne démarrera pas automatiquement. Dans ce cas, ouvrez le fichier du mode d'emploi de la façon suivante.

(Avec un système d'exploitation Windows)

① Ouvrez « Poste de travail ».

② Faites un clic droit sur l'icône du CD-ROM et sélectionnez « Explorer ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

(Avec un système d'exploitation Macintosh)

① Double-cliquez sur l'icône du CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le mode d'emploi que vous souhaitez lire.

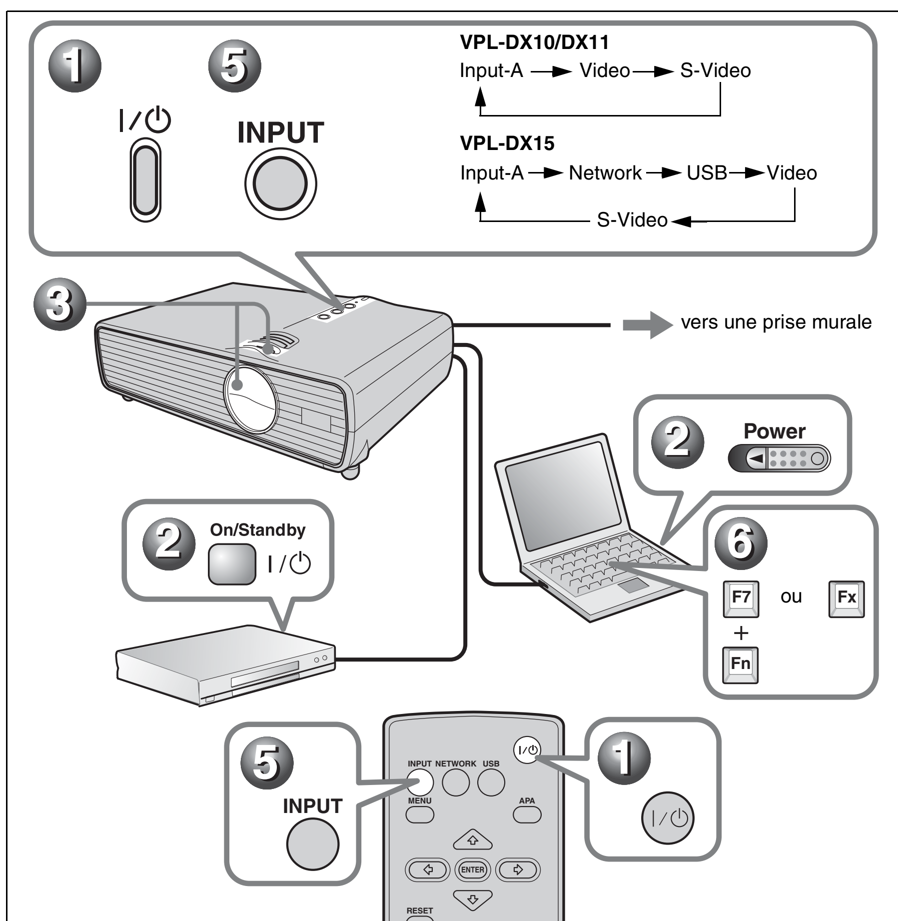
Remarque

Si vous n'êtes pas en mesure d'ouvrir le fichier « index.htm », double-cliquez sur le mode d'emploi que vous souhaitez lire dans le dossier « Operating_Instructions ».

Projection

Projection

1. **Appuyez sur la touche I/⏻.**
2. **Mettez l'appareil raccordé au projecteur sous tension.**
3. **Déplacez le levier de l'obturateur de l'objectif pour ouvrir l'obturateur de l'objectif.**
4. **Ajustez la position, la taille, et la mise au point de l'image.**
   Voir « Ajustement du projecteur » à la page 9.
5. **Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande ou du panneau de commande pour sélectionner la source d'entrée.**
6. **Une fois l'ordinateur raccordé, réglez-le pour que le signal soit envoyé seulement au moniteur externe.**



Ajustement du projecteur

❶ **Utilisez les supports réglables pour ajuster l'inclinaison (la position supérieure ou inférieure de l'image) du projecteur.**

La correction de trapèze V est effectuée automatiquement lorsque vous ajustez l'inclinaison avec les supports réglables.

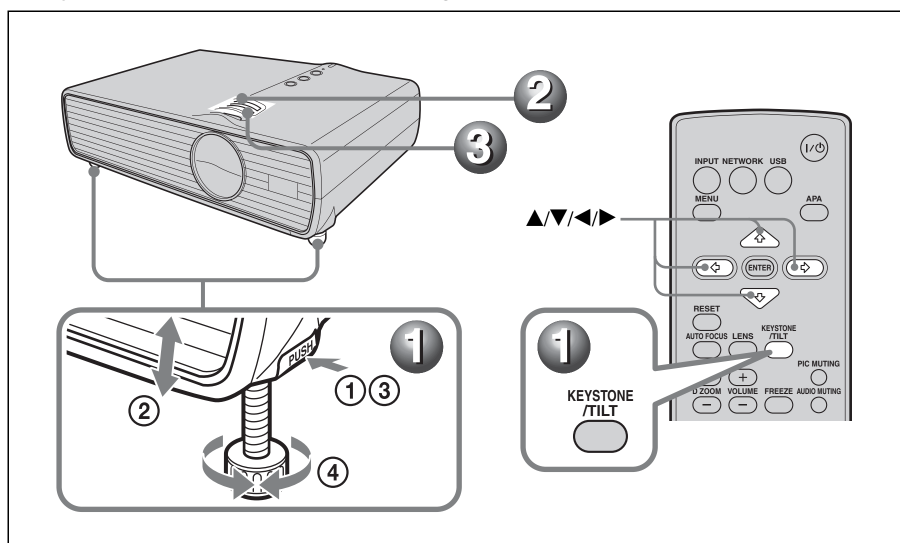
①Soulevez le projecteur tout en appuyant sur le bouton du support.
②Ajustez l'inclinaison du projecteur.
③Relâchez le bouton.
④Pour un ajustement précis, tournez le support vers la droite ou la gauche.

Pour ajuster manuellement l'inclinaison

Appuyez sur la touche KEYSTONE/TILT de la télécommande pour afficher le menu TILT et ajustez l'inclinaison avec les touches ▲/▼/◀/▶.

❷ **Ajustez la taille de l'image avec la bague de zoom.**

❸ **Ajustez la mise au point avec la bague de mise au point.**



Mise hors tension

1 Appuyez sur la touche I/⏻.

2 Lorsqu'un message apparaît, appuyez une nouvelle fois sur la touche I/⏻.

3 Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois que le ventilateur s'est arrêté et que la touche I/⏻ est allumé en rouge.

Remplacement de la lampe

La lampe utilisée comme source d'éclairage est un produit consommable ; remplacez cette lampe par une neuve dans les cas suivants :

- Lorsque la lampe a grillé ou perdu de sa luminosité
- « Remplacer la lampe. » apparaît sur l'écran
- Le témoin LAMP/COVER clignote en orange (Taux de répétition de 3 clignotements) (Voir page 14 pour une autre cause possible.)

La durée de vie de la lampe dépend des conditions d'utilisation.
Utilisez une lampe pour projecteur LMP-D200 comme lampe de rechange. L'utilisation de lampes autres qu'une LMP-D200 peut provoquer des dommages au projecteur.

Mise en garde

La lampe reste chaude après la mise sous tension du projecteur avec la touche I/⏻. **Ne la touchez pas car vous pourriez vous brûler les doigts. Avant de remplacer la lampe, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.**

Remarques

- **Si la lampe se casse, contactez un technicien Sony agréé.**
- Retirez la lampe en la tenant par la poignée. Ne touchez pas la lampe car vous pourriez vous brûler ou vous blesser.
- Lorsque vous retirez la lampe, veillez à ce qu'elle reste horizontale et tirez-la droit vers le haut. N'inclinez pas la lampe. Si vous retirez la lampe en l'inclinant et qu'elle se casse, vous risquez d'être blessé par des projections de verre.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise de courant.

Remarque

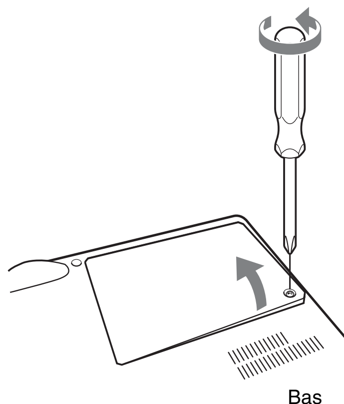
Avant de remplacer la lampe après avoir utilisé le projecteur, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.

2 Placez une couche de protection (chiffon) sous le projecteur. Retournez le projecteur tête en bas de façon que sa face inférieure soit visible.

Remarque

Assurez-vous que le projecteur est stable après l'avoir retourné.

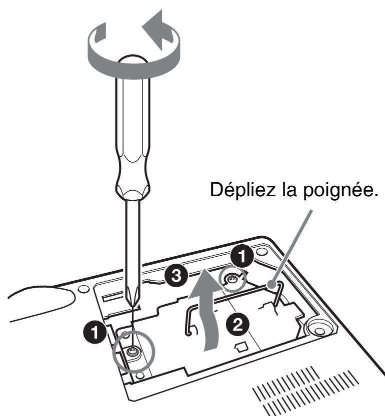
3 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant la vis avec un tournevis cruciforme.



Remarque

Par mesure de sécurité, ne desserrez pas d'autres vis.

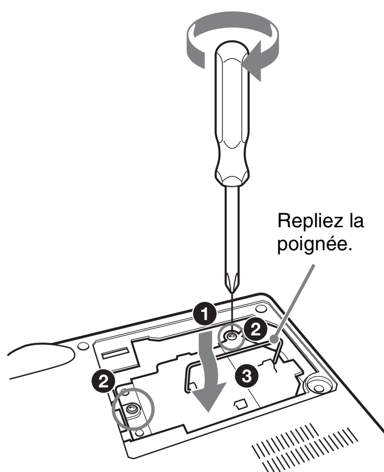
4 Desserrez les deux vis du bloc de lampe à l'aide du tournevis cruciforme (❶). Dépliez la poignée (❷), puis retirez la lampe en la tenant par la poignée (❸).



Attention

N'introduisez pas les doigts dans la fente de remplacement de la lampe et veillez à ce qu'aucun liquide ou objet ne tombe à l'intérieur de la fente **pour éviter tout risque d'électrocution ou d'incendie**.

5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place (❶). Serrez les deux vis (❷). Maintenez la poignée abaissée lorsque vous remplacez la lampe (❸).



Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe et un conducteur à l'intérieur.
- Insérez fermement la poignée pour la fixer correctement.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.

6 Refermez le couvercle de la lampe et resserrez la vis.

Remarque

Assurez-vous de remettre solidement en place le couvercle de la lampe à sa position initiale. Sinon le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

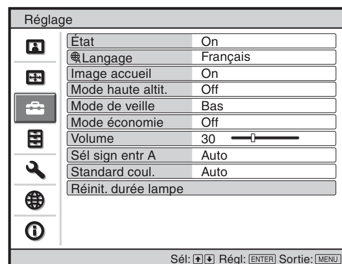
7 Remettez le projecteur à l'endroit.

8 Branchez le cordon d'alimentation. La touche I/⏻ s'allume en rouge.

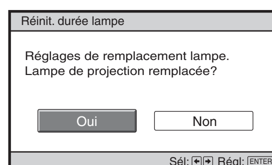
9 Appuyez sur la touche I/⏻ pour allumer le projecteur.

10 Appuyez sur la touche MENU, puis sélectionnez le menu Réglage.

11 Sélectionnez « Réinit. durée lampe », puis appuyez sur la touche ENTER.



« Réglages de remplacement lampe. Lampe de projection remplacée? » s'affiche sur l'écran de menu.



12 Sélectionnez « Oui » avec la touche ◄, puis appuyez sur la touche ENTER.
La durée de lampe est initialisée à 0, et « Réinitialisation de durée de lampe terminée! » s'affiche sur écran de menu.

Mettre à disposition de la lampe usagée

Pour les clients aux États-Unis

La lampe dans ce produit contient du mercure. La disposition de ces matériaux peut être réglementée suite à des considérations environnementales. Pour obtenir des informations de disposition ou de recyclage, veuillez communiquer avec vos autorités locales ou la Telecommunications Industry Association (www.eiae.org).

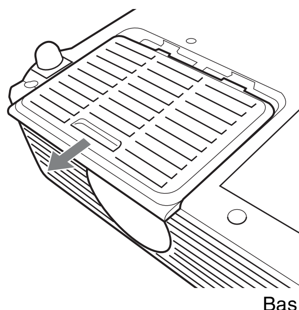
Nettoyage du filtre à air

Le filtre à air doit être nettoyé au bout d'environ 500 heures d'utilisation. Retirez le couvercle du filtre à air, et utilisez un chiffon légèrement imprégné d'un détergent doux pour retirer la poussière.
Le temps nécessaire au nettoyage du filtre à air varie suivant l'environnement ou les conditions d'utilisation du projecteur.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Placez une couche de protection (chiffon) sous le projecteur et retournez le projecteur.

3 Ôtez le couvercle du filtre à air.



4 Retirez le filtre, et essuyez-le avec avec un détergent doux.

5 Replacez le filtre sur le couvercle du filtre à air.

6 Replacez le couvercle du filtre à air.

Remarques

- S'il n'est pas possible d'enlever la poussière du filtre à air, remplacez ce dernier par un neuf.
- Pour plus d'informations sur les nouveaux filtres à air, veuillez contacter votre représentant Sony.
- Assurez-vous de bien fixer le couvercle du filtre à air pour éviter des problèmes de fonctionnement du projecteur.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et de remédier au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour plus de renseignements sur ce problème, consultez le mode d'emploi sur le CD-ROM.

Tension

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le cordon d'alimentation secteur n'est pas branché. ➔ Branchez fermement le cordon d'alimentation secteur. • La lampe ou son couvercle n'est pas correctement fixé en place. ➔ Fixez correctement la lampe ou son couvercle.

Image

Symptôme	Cause et remède
Pas d'image.	• Le projecteur ne se met pas sous tension. ➔ Allumez le projecteur. • Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Assurez-vous que les raccordements sont bien effectués. • L'obturateur de l'objectif est fermé. ➔ Ouvrez l'obturateur de l'objectif. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez la source d'entrée correcte. • L'image a été masquée. ➔ Appuyez sur la touche PIC MUTING pour faire réapparaître l'image. • Le signal de l'ordinateur n'est pas réglé sur sortie vers un moniteur externe ou réglé sur sortie vers un moniteur externe et un moniteur LCD d'un ordinateur. ➔ Réglez le signal d'ordinateur pour une sortie vers un moniteur externe uniquement.
L'image est parasitée.	Il n'est pas possible de brancher correctement le câble de raccordement. ➔ Vérifiez que le câble de raccordement est bien branché.
L'affichage sur écran n'apparaît pas.	« État » dans le menu Réglage a été réglé sur « Off ». ➔ Réglez « État » dans le menu Réglage sur « On ».
La balance des couleurs est incorrecte.	• La qualité d'image est mal réglée. ➔ Réglez la qualité d'image dans le menu Image. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut. • L'option sélectionnée pour « Sél sign entr A » dans le menu Réglage est incorrecte. ➔ Sélectionnez correctement l'option « Ordinateur », « Vidéo GBR » ou « Composant » selon le signal d'entrée. • Le projecteur est réglé sur le mauvais standard couleur. ➔ Réglez « Standard coul. » dans le menu Réglage sur le standard couleur du signal d'entrée.

Symptôme	Cause et remède
L'image est trop sombre.	• Le contraste ou la Lumière ne sont pas correctement réglés. ➔ Réglez correctement le Contraste ou la Lumière dans le menu Image. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut. • La lampe est grillée ou a perdu de sa luminosité. ➔ Réglez « Durée de lampe » dans le menu Informations.
L'image n'est pas nette.	• L'image est mal mise au point. ➔ Réglez la mise au point. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. ➔ Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.
L'image dépasse de l'écran.	• Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. ➔ Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. • Le réglage de l'écran est incorrect. ➔ Réglez « Déplacement » dans le menu de configuration Ecran. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut.
L'image tremblote.	Le réglage de l'écran est incorrect. ➔ Réglez « Phase » dans le menu de configuration Ecran. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut.
Le rapport de format de l'écran est incorrect.	Le réglage de l'écran est incorrect. ➔ Réglez « Aspect » dans le menu de configuration Ecran. ➔ Vous pouvez réinitialiser toutes les valeurs de paramétrage à leur défaut.

Son

Symptôme	Cause et remède
Pas de son.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Assurez-vous que les raccordements sont bien effectués. • Le câble de raccordement audio utilisé est incorrect. ➔ Utilisez un câble audio stéréo sans résistance. • Le son est coupé. ➔ Appuyez sur la touche AUDIO MUTING pour annuler la coupure du son. • Le son n'est pas correctement réglé. ➔ Ajustez le son avec la touche VOLUME +/– de la télécommande.

Indicateurs

Symptôme	Cause et remède
Le témoin LAMP/ COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 2 clignotements)	Le couvercle de la lampe est mal fixé. ➔ Fixez fermement le couvercle.

Symptôme	Cause et remède
Le témoin LAMP/ COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 3 clignotements)	• L'intérieur de l'appareil a atteint une température élevée, et le capteur de température a été activé. ➔ Vérifiez que rien ne bloque l'arrivée d'air frais et les fentes de ventilation. • La lampe a atteint une température élevée. ➔ Attendez 90 secondes pour que la lampe refroidisse, puis rallumez le projecteur. Lorsque vous avez vérifié les éléments ci-dessus, si la panne se reproduit, cela peut être dû aux causes suivantes : • La lampe a atteint la fin de sa durée de vie utile et doit être remplacée. • L'intérieur de l'appareil a atteint une température élevée, et le fusible de la température a grillé. ➔ Consultez le service après-vente Sony.
La touche I/⏻ clignote en rouge. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. ➔ Assurez-vous que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués. • Le projecteur est utilisé à haute altitude. ➔ Assurez-vous que « Mode haute altit. » dans le menu Réglage est réglé sur « On ».
La touche I/⏻ clignote en rouge. (Taux de répétition de 4 clignotements)	Le ventilateur est défectueux. ➔ Consultez le service après-vente Sony.
La touche I/⏻ clignote en rouge. (Taux de répétition de 6 clignotements)	Débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise murale une fois la touche I/⏻ éteinte, puis rebranchez-le et remettez le projecteur sous tension. Si le la touche I/⏻ clignote en rouge et que le problème persiste, le circuit électrique est en panne. Ou alors, l'intérieur de l'appareil a atteint une température élevée, et le fusible de la température a grillé. ➔ Consultez le service après-vente Sony.

Spécifications

Système de projection
3 panneaux LCD, 1 objectif, système de projection
Panneau LCD Panneau XGA de 0,63 pouce (16,0 mm), 2 360 000 pixels environ (786 432 pixels × 3)
Objectif Objectif zoom 1,2 fois
f 18,63 mm à 22,36 mm/F1,65 à 1,8
Lampe Lampe au mercure ultra-haute pression de 200 W
Dimensions de l'image projetée (en diagonale)
40 pouces à 300 pouces (1 016 mm à 7 620 mm))
Intensité lumineuse
VPL-DX10 : 2 500 lumen
VPL-DX11/DX15 : 3 000 lumen
(Lorsque Mode de lampe est sur « Haut ».)
Distance de projection
Voir « Installation du projecteur et schéma d'installation » dans le « Mode d'emploi » sur le CD-ROM fourni.
Standard couleur
Système NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, sélection automatique/manuelle
(NTSC4.43 est le standard couleur utilisé lors de la lecture d'une cassette vidéo enregistrée en NTSC sur un magnétoscope NTSC4.43.)
Résolution 750 lignes TV horizontales (entrée vidéo)
1 024 × 768 pixels (entrée RVB)
Signaux d'ordinateur compatibles[1)]
fH : 19 kHz à 80 kHz
fV : 48 Hz à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d'entrée : SXGA+ 1 400 × 1 050
fV : 60 Hz)

[1)] Spécifiez la résolution et la fréquence du signal de l'ordinateur utilisé dans les limites des signaux préprogrammés admissibles du projecteur.

Signaux vidéo utilisables
15 k RVB, Composantes 50/60 Hz, composantes progressif 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), vidéo composite, Y/C
Dimensions environ 295 × 74 × 204 mm (11 5/8 × 2 29/32 × 8 1/32 pouces) (l/h/p) (sans parties externes)
Poids VPL-DX10/DX11 : 2,1 kg (4 lb 11 oz) environ
VPL-DX15 : 2,2 kg (4 lb 14 oz) environ
Alimentation 100 V à 240 V CA, 3,6 A à 1,6 A, 50/60 Hz
Consommation électrique
VPL-DX15 : 320 W max.
en veille (Standard) : 10,5 W
en veille (Bas) : moins de 1,0 W
VPL-DX10/DX11 : 320 W max.
en veille (Standard) : 5,5 W
en veille (Bas) : moins de 1,0 W
Température de fonctionnement
0 °C à 35 °C (32 °F à 95 °F)
Accessoires fournis
Télécommande (1)
Pile au lithium CR2025 (1)
Câble HD D-sub à 15 broches (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony) ou (1-791-992-61/Sony)
Mallette de transport (1)
Cordon d'alimentation secteur (1)
Mode d'emploi (CD-ROM) (1)
Guide de référence rapide (1)
Étiquette de sécurité (1)

La conception et les spécifications de l'appareil et de ses accessoires en option sont susceptibles d'être modifiées sans préavis.

Remarque

Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit**.

Accessoires en option

Lampe de projecteur
LMP-D200 (pour remplacement)
Outil de présentation
RM-PJPK1

Les accessoires en option ne sont pas tous disponibles dans tous les pays et régions.

Pour plus d'informations, veuillez contacter votre revendeur Sony agréé.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA
ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

ADVERTENCIA

Esta unidad no dispone de interruptor de alimentación.
Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

Aviso para los clientes

La información para cada país/zona sólo se aplica a los equipos vendidos en el país/la zona.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, 108-0075 Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

Sólo para VPL-DX15

Para los clientes de México

Este equipo opera a titulo secundario, consecuentemente, debe aceptar interferencias perjudiciales incluyendo equipos de la misma clase y puede no causar interferencias a sistemas operando a titulo primario.

Para los clientes de Europa

Aviso para los clientes: la siguiente información sólo se aplica a los equipos vendidos en países sometidos a las directivas de la UE.



Este producto ha sido fabricado para utilizarse en los siguientes países:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Por medio de la presente Sony Corporation declara que el VPL-DX15/Data Projector cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE. Para mayor información, por favor consulte el siguiente URL:
http://www.compliance.sony.de

Para los clientes de Francia

La función WLAN de este proyector se utilizará exclusivamente en el interior de edificios.

Para los clientes de Italia

El uso de la red RLAN se rige:

- con respecto al uso privado, por el Decreto legislativo de 1.8.2003, núm. 259 (“Código de comunicaciones electrónicas”). En concreto, el artículo 104 indica cuándo se requiere la obtención previa de una autorización general y el artículo 105 indica cuándo se permite el uso libre;
- con respecto al suministro al público del acceso RLAN a las redes y servicios de telecomunicaciones, por el Decreto ministerial de 28.5.2003, según fue enmendado, y el artículo 25 (autorización general para redes y servicios de comunicación electrónica) del Código de comunicaciones electrónicas
- con respecto al uso privado, por el Decreto ministerial de 12.07.2007

Para los clientes de Chipre

El usuario final debe registrar los dispositivos RLAN en el Departamento de comunicaciones electrónicas (P.I. 6/2006 y P.I. 6A/2006).

P.I. 6/2006 corresponde a la Orden de 2006 sobre radiocomunicaciones (categorías de emisoras sujetas a autorización general y registro).
P.I. 6A/2006 corresponde a la autorización general para el uso de radiofrecuencias por redes de área local de radio y por sistemas de acceso inalámbrico, incluidas las redes de área local de radio (WAS/RLAN).

Para los clientes de Noruega

No se permite el uso de este equipo de radio en la zona geográfica situada dentro de un radio inferior a 20 km desde el centro de Ny-Ålesund, Svalbard.

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado de Sony antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación (escape). El aire que sale está caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador cuando ajuste la altura de la unidad. No ejerza una presión excesiva sobre la parte superior de la unidad cuando el ajustador esté fuera.
- Asegúrese de agarrar ambos lados de la unidad con ambas manos cuando transporte la unidad.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar la unidad en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechos de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención del calentamiento interno

La unidad está equipada con orificios de ventilación de admisión en la parte inferior y de escape a un lado. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños a la unidad.

Limpieza

Antes de la limpieza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación de la toma de CA.

Limpieza del filtro de aire

- Limpie el filtro de aire siempre que sustituya la lámpara.
- Consulte "Limpieza del filtro de aire" para ver el procedimiento de limpieza del filtro de aire.

Limpieza de la cubierta del objetivo

La superficie de la cubierta del objetivo está tratada especialmente para reducir el reflejo de la luz.
Un mantenimiento incorrecto puede afectar al rendimiento del proyector, por lo que se debe tener en cuenta lo siguiente:

- Evite tocar la cubierta del objetivo. Utilice un paño seco y suave para eliminar el polvo del objetivo. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni diluyentes.
- Limpie suavemente la cubierta del objetivo con un paño suave (trapo o gamuza).
- Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave (trapo o gamuza) ligeramente humedecido con agua.
- No utilice nunca disolventes como alcohol, benceno o disolventes, o detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, o paños de limpieza con productos químicos, ya que dañarán la superficie de la cubierta del objetivo.

Limpieza de la carcasa

- Limpie suavemente la carcasa con un paño suave y seco. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave y, a continuación, pasando un paño seco y suave.
- El uso de alcohol, benceno, disolventes o insecticidas puede dañar el acabado de la carcasa, o borrar las indicaciones de esta. No utilice estos productos químicos.
- Si se frota la carcasa con un paño sucio, esta puede arañarse.
- Si la carcasa entra en contacto con goma o resina de vinilo durante un periodo de tiempo prolongado, el acabado de la misma podría deteriorarse y el recubrimiento podría desprenderse.

Proyector LCD

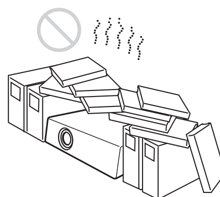
El proyector LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), o ambos, de forma continua en el proyector. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.
Además, si utiliza varios proyectores LCD para proyectar en una pantalla, es posible que la reproducción de colores no sea igual en todos los proyectores, incluso si son del mismo modelo, ya que el balance de color puede estar configurado de manera distinta.

Notas sobre la instalación y el uso

Instalación inadecuada

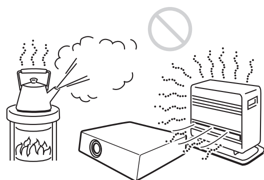
No instale la unidad en las siguientes situaciones. **Estas instalaciones pueden producir fallos de funcionamiento o daños** a la unidad.

Ventilación escasa



- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios, el sensor de temperatura se activará y aparecerá el mensaje "¡Temperatura alta! Apag. 1min.". La alimentación se desactivará automáticamente tras un minuto.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 7/8 pulgadas) alrededor de la unidad.
- Procure que no se introduzcan elementos extraños de tamaño reducido por los orificios de ventilación, como por ejemplo trozos de papel.

Calor y humedad excesivos



- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

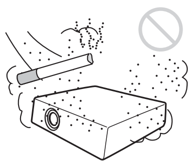
Expuesta a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización

Si la instala en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o al aumento de temperatura.

Cerca de un sensor de calor o de humo

Puede provocar que el sensor se averíe.

Con mucho polvo o humo excesivo



Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente. Limpie el filtro de aire siempre que sustituya la lámpara.

Uso a altitudes elevadas

Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, ajuste la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración en “Sí”. Si no se establece este modo cuando se utiliza la unidad a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

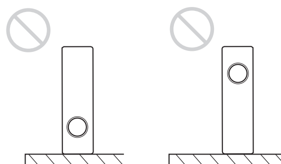
Nota sobre la pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y la unidad, o de la ampliación del zoom. Esto no significa una avería de la unidad.

Condiciones inadecuadas

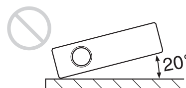
No emplee la unidad en las siguientes condiciones.

No tumbe la unidad



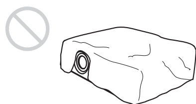
Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada en un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

No la incline a derecha o izquierda



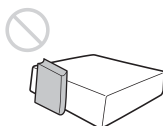
Evite utilizar la unidad con una inclinación hacia la derecha o la izquierda superior a 20 grados. Si no lo hace así, puede provocar averías.

No bloquee los orificios de ventilación



Evite emplear algo que cubra los orificios de ventilación (escape/aspiración); en caso contrario, es posible que se produzca un recalentamiento interno.

No coloque ningún objeto que bloquee el objetivo justo delante del objetivo



No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla de función de apagado de la imagen para interrumpir la imagen.

Usar los manuales del CD-ROM

El CD-ROM suministrado contiene el manual de instrucciones y el archivo ReadMe en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español, chino e ruso. En primer lugar, consulte el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el manual de instrucciones del CD-ROM necesita Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si no tiene Adobe Acrobat Reader instalado en el ordenador, puede descargar de forma gratuita el software de Acrobat Reader desde la dirección URL de Adobe Systems.

Para leer el manual de instrucciones

El manual de instrucciones están en el CD-ROM que se suministra. Inserte en la unidad de CD-ROM del ordenador el CD-ROM que se suministra; el CD-ROM se iniciará automáticamente después de unos momentos. Selecciones el manual de instrucciones que desee leer.
Es posible que el CD-ROM no se inicie automáticamente, según el ordenador. En este caso, abra el archivo de manual de instrucciones de la manera siguiente:

(En el caso de Windows)

① Abra “Mi PC”.

② Haga clic con el botón derecho del ratón en el icono de CD-ROM y seleccione “Explorar”.

③ Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

(En el caso de Macintosh)

① Haga doble clic en el icono de CD-ROM en el escritorio.

② Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el manual de instrucciones que desee leer.

Notas

Si no puede abrir el archivo “index.htm”, haga doble clic en el manual de instrucciones que desee leer de entre las de la carpeta “Operating_Instructions”.

Proyección

Proyección

❶ **Pulse la tecla I/⏻.**

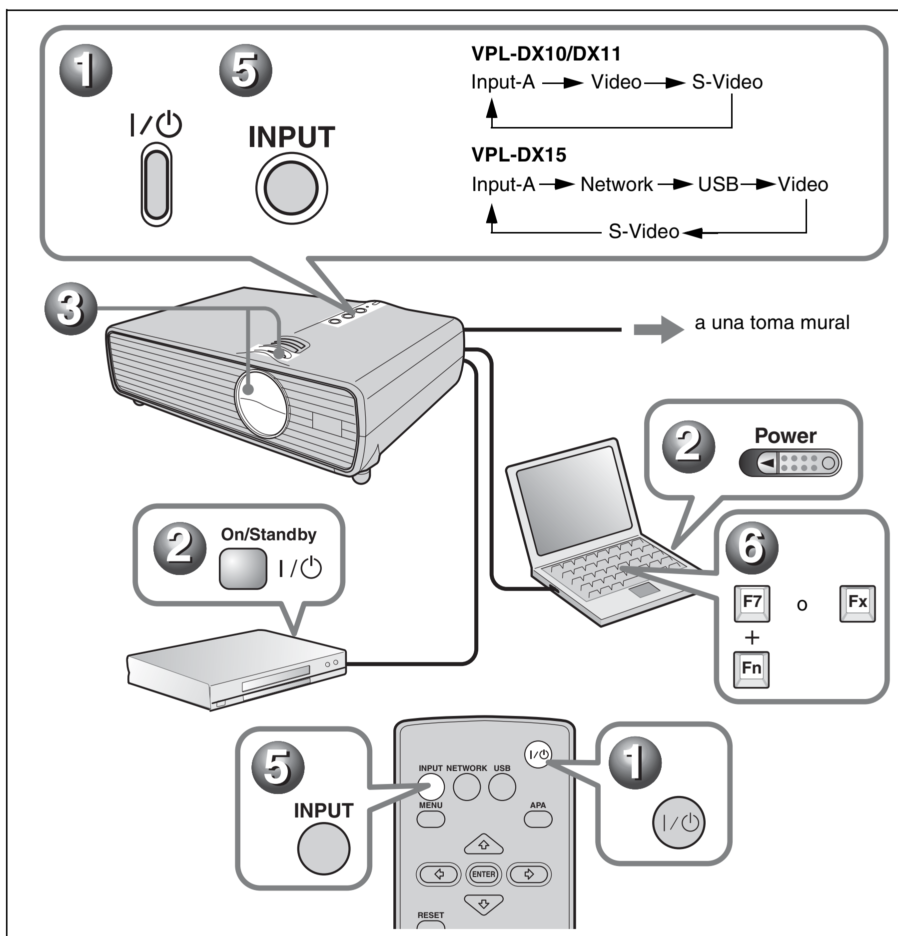
❷ **Encienda el equipo conectado al proyector.**

❸ **Mueva la palanca del control objetivo para abrir el control objetivo.**

❹ **Ajuste la posición, el tamaño y el enfoque de la imagen.**
Consulte “Ajustar el proyector” en la página 9.

❺ **Pulse la tecla INPUT en el mando a distancia o el panel de control para seleccionar la fuente de entrada.**

❻ **Cuando el ordenador esté conectado, ajústelo de modo que envíe la señal solamente al monitor externo.**



Ajustar el proyector

❶ **Ajuste la inclinación (posición superior o inferior de la imagen) del proyector con los ajustadores.**

Cuando ajuste la inclinación con los ajustadores, el ajuste de Trapezoide V se realiza automáticamente.

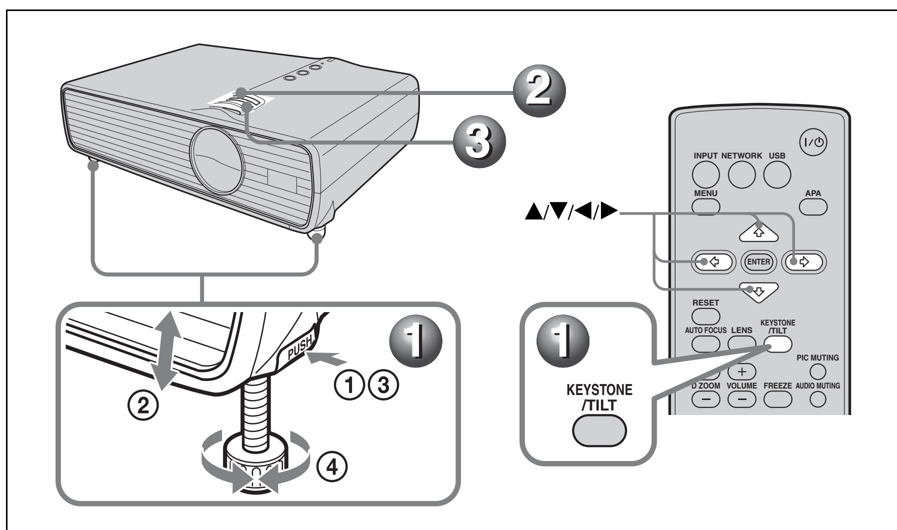
① Levante el proyector mientras mantiene pulsado el botón del ajustador.
② Ajuste la inclinación del proyector.
③ Suelte el botón del ajustador.
④ Si es necesario realizar ajustes más precisos, gire el ajustador a la derecha y a la izquierda.

Para ajustar la inclinación manualmente

Pulse la tecla KEYSTONE/TILT del mando a distancia para visualizar el menú TILT y ajustar la inclinación con las teclas ▲/▼/◀/▶.

❷ **Ajuste el tamaño de la imagen con el anillo del zoom.**

❸ **Ajuste el enfoque con el anillo de enfoque.**



Apagar la alimentación

1 Pulse la tecla I/⏻.

2 Cuando aparezca un mensaje, pulse de nuevo la tecla I/⏻.

3 Desenchufe el cable de alimentación de ca de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y la tecla I/⏻ se ilumine en rojo.

Sustitución de la lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz es un producto consumible. Por lo tanto, debe sustituir la lámpara por una nueva en los casos siguientes.

- Cuando la lámpara se funde o disminuye su brillo
- Cuando aparece en la pantalla “Por favor cambie la lámpara”
- El indicador LAMP/COVER parpadea en naranja (frecuencia de repetición de 3 parpadeos). (Consulte en la página 14 otra causa posible.)

La vida útil de la lámpara varía según las condiciones de uso.
Utilice una lámpara de proyección LMP-D200 como lámpara de repuesto.
El uso de lámparas diferentes de la LMP-D200 puede dañar el proyector.

Nota

La lámpara continúa estando caliente después de haber apagado el proyector con la tecla I/⏻. **Si toca la lámpara, puede quemarse los dedos. Antes de sustituir la lámpara, espere al menos una hora hasta que se enfríe.**

Notas

- **Si la lámpara se rompe, póngase en contacto con personal especializado de Sony.**
- Tire de la lámpara hacia fuera utilizando el asa. Si toca la lámpara, puede quemarse o herirse.
- Al retirar la lámpara, asegúrese de que se encuentra en posición horizontal y tire hacia arriba. No incline la lámpara. Si tira hacia fuera de la lámpara mientras se encuentra inclinada y la lámpara se rompe, los fragmentos pueden dispersarse y provocar heridas.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma de CA.

Nota

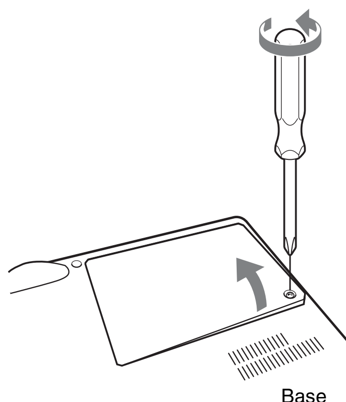
Antes de sustituir la lámpara, después de usar el proyector, espere al menos una hora hasta que se enfríe.

2 Coloque una hoja (paño) de protección debajo del proyector. Dé la vuelta al proyector de forma que vea la parte inferior.

Nota

Asegúrese de que el proyector se encuentra en una posición estable después de haberle dado la vuelta.

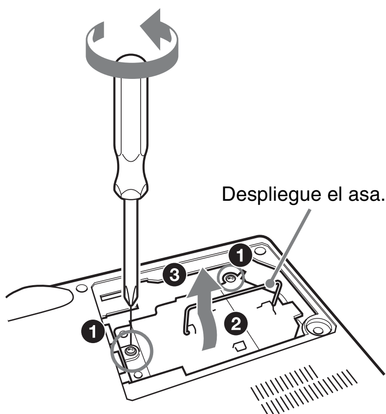
3 Para abrir la cubierta de la lámpara, afloje el tornillo con un destornillador de estrella.



Nota

Por razones de seguridad, no afloje más tornillos.

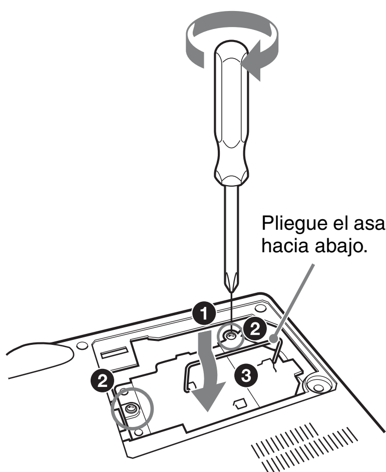
4 Afloje los dos tornillos de la lámpara con el destornillador de estrella (❶). Despliegue el asa (❷) y, a continuación, tire de ella para extraer la unidad de la lámpara (❸).



Precaución

Para evitar descargas eléctricas o incendios, no introduzca las manos en el compartimento de sustitución de la lámpara, ni permita que se introduzcan líquidos ni ningún otro objeto.

5 Introduzca por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada en su sitio (❶). Apriete los dos tornillos (❷). Vuelva a plegar el asa en su lugar (❸).



Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara y el conductor interior.
- Inserte el asa con firmeza para que quede bien fijada.

- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.

6 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete los dos tornillos.

Nota

Asegúrese de fijar la cubierta de la lámpara como estaba. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

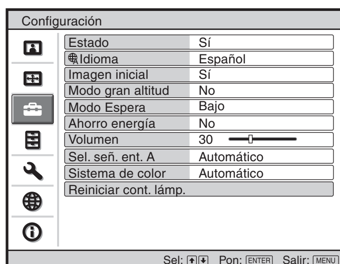
7 Vuelva a darle la vuelta al proyector.

8 Conecte el cable de alimentación.
La tecla I/⏻ se ilumina en rojo.

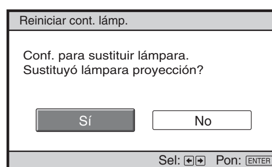
9 Pulse la tecla I/⏻ para encender el proyector.

10 Pulse la tecla MENU y, a continuación, seleccione el menú Configuración.

11 Seleccione "Reiniciar cont. lámp." y, a continuación, pulse la tecla ENTER.



"Conf. para sustituir lámpara. Sustituyó lámpara proyección?" en la pantalla de menús.



12 Seleccione "Si" con la tecla ◄ y, a continuación, pulse la tecla ENTER.
El contador de la lámpara se inicializa en 0 y aparece "Reinic. cont. lámp. completa." en la pantalla de menús.

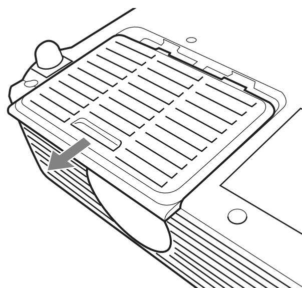
Limpieza del filtro de aire

Se debe limpiar el filtro cada 500 horas de uso, aproximadamente. Retire la cubierta del filtro de aire y, a continuación, quite el polvo con un paño humedecido en una solución detergente suave.
El tiempo necesario para limpiar el filtro de aire variará en función del entorno o de cómo se utilice el proyector.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Coloque una hoja de protección (paño) debajo del proyector y dé la vuelta al proyector.

3 Extraiga la cubierta del filtro del aire.



4 Retire el filtro del interior y, a continuación, quite el polvo con un paño humedecido en un detergente suave.

5 Vuelva a colocar el filtro dentro de su compartimiento.

6 Vuelva a colocar la cubierta del filtro de aire.

Notas

- Si no es posible eliminar el polvo del filtro de aire, sustitúyalo por uno nuevo.
- Para ver información detallada sobre el nuevo filtro de aire, consulte con personal especializado de Sony.
- Asegúrese de fijar bien la cubierta del filtro de aire, ya que pueden producirse problemas si no está bien instalada.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para obtener información detallada sobre los síntomas, consulte el manual de instrucciones que contiene el CD-ROM.

Alimentación

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se activa.	• El cable de alimentación de CA no está conectado. ➔ Conecte con fuerza el cable de alimentación CA. • La lámpara o la cubierta de la lámpara no están sujetas. ➔ Fije firmemente la lámpara o la cubierta de la lámpara.

Imagen

Síntoma	Causa y solución
Sin imagen.	• La alimentación no se activa. ➔ Encienda la alimentación. • Hay un cable desconectado o las conexiones no son correctas. ➔ Compruebe que se han hecho las conexiones apropiadas. • El margen de funcionamiento es limitado. ➔ Abra el control objetivo. • La selección de entrada es incorrecta. ➔ Seleccione correctamente la fuente de entrada. • La imagen está apagada. ➔ Pulse la tecla PIC MUTING para liberar el apagado de la imagen. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo ni para la salida tanto hacia un monitor externo como un monitor LCD de ordenador. ➔ Ajuste el ordenador para que envíe la señal solamente a un monitor externo.
La imagen aparece con ruido.	El cable de conexión no está correctamente enchufado. ➔ Compruebe que el cable de conexión esté bien conectado.
La indicación en pantalla no aparece.	"Estado" en el menú Configuración se ha ajustado en "No". ➔ Establezca "Estado" en el menú Configuración en "Sí".
El balance de color es incorrecto.	• El ajuste de la calidad de imagen no es el adecuado. ➔ Ajuste la calidad de la imagen en el menú Imagen. ➔ Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados. • El ajuste de "Sel. señ. ent. A" en el menú Configuración es incorrecto. ➔ Seleccione la opción correcta, "Ordenador", "Vídeo GBR" o "Componente", en función de la señal de entrada. • El proyector está ajustado en un sistema de color incorrecto. ➔ Ajuste "Sistema de color", en el menú Configuración, de modo que coincida con el sistema de color de la entrada.

Síntoma	Causa y solución
La imagen es demasiado oscura.	• El contraste o el brillo no se han ajustado correctamente. → Ajuste correctamente la opción Contraste o Brillo en el menú Imagen. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados. • La lámpara se ha fundido o su intensidad ha disminuido. → Compruebe “Contador lámpara” en el menú Información.
La imagen no es nítida.	• La fotografía está desenfocada. → Ajuste el enfoque. • Se ha acumulado condensación en el objetivo. → Deje el proyector encendido durante unas dos horas.
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	• Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. → Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. • El ajuste de la pantalla no es correcto. → Ajuste “Desplazamiento” en el menú de configuración Pantalla. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados.
La imagen parpadea.	El ajuste de la pantalla no es correcto. → Ajuste “Fase” en Pantalla en el menú de configuración. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados.
La relación de aspecto de la pantalla no es correcta.	El ajuste de la pantalla no es correcto. → Ajuste “Aspecto” en el menú de configuración Pantalla. → Todos los valores de configuración se pueden restablecer a sus valores predeterminados.

Sonido

Síntoma	Causa y solución
Sin sonido.	• Hay un cable desconectado o las conexiones no son correctas. → Compruebe que se han hecho las conexiones apropiadas. • El cable utilizado para la conexión de audio no es correcto. → Utilice un cable de audio estéreo sin resistencia. • El sonido está apagado. → Pulse la tecla AUDIO MUTING para liberar el apagado de sonido. • El sonido no está correctamente ajustado. → Ajuste el sonido con la tecla Volumen del mando a distancia.

Indicadores

Síntoma	Causa y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	La cubierta de la lámpara está suelta. → Fije firmemente la cubierta.

Síntoma	Causa y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 3 flashes)	• Se ha alcanzado una temperatura elevada en el interior de la unidad y se ha activado el sensor de temperatura. → Compruebe que nada bloquee la entrada de aire fresco y la salida de escape. • La lámpara ha alcanzado una alta temperatura. → Espere 90 segundos para que la lámpara se enfríe y vuelva a activar la alimentación. Si cualquiera de los problemas persiste después de haber realizado las comprobaciones anteriores, puede ser debido a las siguientes causas: • Es necesario sustituir la lámpara porque ha llegado al final de su vida útil. • Se ha alcanzado una temperatura elevada en el interior de la unidad y el fusible de temperatura se ha fundido. → Consulte con personal especializado de Sony.
La tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 2 flashes)	• La temperatura interna es anormalmente alta. → Compruebe que nada bloquee los orificios de ventilación. • Se está utilizando el proyector a una altitud elevada. → Asegúrese de que la opción “Modo gran altitud” del menú Configuración está ajustada en “Sí”.
La tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 4 flashes)	El ventilador está averiado. → Consulte con personal especializado de Sony.
La tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 6 flashes)	Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando se apague la tecla I/⏻, enchufe el cable de alimentación en la toma mural y vuelva a encender el proyector. Si I/⏻ parpadea en rojo y el problema persiste, el sistema eléctrico ha fallado. O bien, se ha alcanzado una temperatura elevada en el interior de la unidad y el fusible de temperatura se ha fundido. → Consulte con personal especializado de Sony.

Especificaciones

Sistema de proyección
Sistema de proyección de 3 paneles LCD, 1 objetivo
Panel LCD Panel XGA de 0,63 pulgadas (16,0 mm), aproximadamente 2.360.000 de píxeles (786.432 píxeles × 3)
Objetivo Objetivo zoom de 1,2 aumentos f 18,63 mm a 22,36 mm/F1,65 a 1,8
Lámpara Lámpara de mercurio de presión ultra alta de 200 W
Tamaño de imagen proyectada (medidas diagonalmente)
40 pulgadas a 300 pulgadas (1.016 mm a 7.620 mm)
Emisión de luz
VPL-DX10: 2.500 lúmenes
VPL-DX11/DX15: 3.000 lúmenes
(cuando el Modo de Lámpara está establecido en “Alto”)
Distancia de proyección
Consulte el apartado “Instalación del proyector y diagrama de instalación” en el “Manual de instrucciones” incluido en el CD-ROM suministrado.
Sistema de color
Sistema NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, de conmutación automática/manual
(NTSC4.43 es el sistema de color que se utiliza para reproducir vídeos grabados en NTSC en una videograbadora de sistema NTSC4.43.)
Resolución 750 líneas de TV horizontales (entrada de vídeo)
1.024 × 768 puntos (entrada RVA)
Señales de ordenador aceptables[1)]
fH: 19 kHz a 80 kHz
fV: 48 Hz a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: SXGA+ 1.400 × 1.050 fV: 60 Hz)

1) Ajuste la resolución y la frecuencia de la señal del ordenador conectado dentro del margen de señales predefinidas que admite el proyector.

Señales de vídeo aplicables
15 k RGB/Componente 50/60 Hz, Componente progresivo 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Vídeo compuesto, Y/C
Dimensiones Aprox. 295 × 74 × 204 mm (11 5/8 × 2 29/32 × 8 1/32 pulgadas) (ancho/alto/profundidad) (sin las partes salientes)
Masa VPL-DX10/DX11: Aprox. 2,1 kg (4 lb 11 oz)
VPL-DX15: Aprox. 2,2 kg (4 lb 14 oz)
Requisitos de alimentación
CA 100 V a 240 V, 3,6 A a 1,6 A, 50/60 Hz
Consumo eléctrico
VPL-DX15: Máx. 320 W
en espera (estándar): 10,5 W
en espera (Bajo): menos de 1,0 W
VPL-DX10/DX11: Máx. 320 W
en espera (estándar): 5,5 W
en espera (Bajo): menos de 1,0 W
Temperatura de funcionamiento
0 °C a 35 °C (32 °F a 95 °F)
Accesorios suministrados
Mando a distancia (1)
Batería de litio CR2025 (1)
Cable HD D-sub de 15 contactos (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony) o (1-791-992-61/Sony)
Maleta de transporte (1)
Cable de alimentación de CA (1)
Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Etiqueta de seguridad (1)

El diseño y las especificaciones de la unidad, incluidos los accesorios opcionales, están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Accesorios opcionales

Lámpara de proyector
LMP-D200 (de repuesto)
Herramienta de presentación
RM-PJPK1

No todos los accesorios opcionales están disponibles en todos los países y zonas. Solicite información al distribuidor autorizado de Sony más cercano.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden.
Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

Hinweis für Kunden

Die länder-/regionsspezifischen Hinweise gelten nur für Geräte, die in diesen Ländern/ Regionen verkauft werden.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

Nur für VPL-DX15

Für Kunden in Europa

Hinweis für Kunden: die folgenden Hinweise gelten nur für Geräte, die in Ländern verkauft werden, in denen die EG-Richtlinien angewandt werden.



Dieses Produkt ist für die Verwendung in den folgenden Ländern vorgesehen:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Hiermit erklärt Sony Corporation, dass sich das Gerät VPL-DX15/Data Projector in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet. Weitere Informationen erhältlich unter:
http://www.compliance.sony.de/

Für Kunden in Frankreich

Die WLAN-Funktion dieses Datenprojektors darf ausschließlich innerhalb von Gebäuden verwendet werden.

Für Kunden in Italien

Die Verwendung des RLAN-Netzwerkes wird geregelt:

- in Bezug auf die private Verwendung durch die gesetzliche Bestimmung vom 01.08.2003, Nr. 259 („Richtlinie über elektronische Kommunikation“). Im Einzelnen gibt Artikel 104 an, wann die vorherige Einholung einer allgemeinen Genehmigung erforderlich ist und Art. 105, wann die freie Verwendung erlaubt ist.
- in Bezug auf die Bereitstellung des RLAN-Zugangs zu Telekomnetzwerken – und Dienstleistungen für die Öffentlichkeit, durch die geänderte amtliche Richtlinie vom 28.05.2003 und Art. 25 (allgemeine Genehmigung für elektronische Kommunikationsnetzwerke und -dienstleistungen) der Richtlinie über elektronische Kommunikation
- in Bezug auf die private Verwendung durch die amtliche Richtlinie vom 12.07.2007

Für Kunden in Zypern

Der Endnutzer muss die RLAN-Geräte bei der Stelle für elektronische Kommunikation (P.I. 6/2006 und P.I. 6A/2006) registrieren lassen.

P.I. 6/2006 ist die Radiokommunikationsordnung von 2006 (Kategorien der Sender, die einer allgemeinen Genehmigung und Registrierung unterliegen)
P.I. 6A/2006 ist die allgemeine Genehmigung für die Verwendung von Radiofrequenzen durch lokale Netzwerke und durch drahtlose Zugangssysteme, einschließlich lokaler Radionetzwerke (WAS/RLAN).

Für Kunden in Norwegen

Die Verwendung von Radiogeräten im geografischen Bereich innerhalb eines Radius von 20 km vom Zentrum von Ny-Ålesund, Svalbard ist nicht erlaubt.

Vorsichtsmaßnahmen

Info zur Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertes Sony-Personal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen (Auslass) fern — die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie beim Einstellen der Höhe des Gerätes darauf, dass Sie sich nicht die Finger an den Einstellfüßen klemmen. Vermeiden Sie festes Drücken auf die Oberseite des Gerätes bei ausgefahrenem Einstellfuß.
- Halten Sie das Gerät beim Tragen mit beiden Händen an beiden Seiten.

Info zur Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.
- Verdecken Sie zur Leinwand gewandte Fenster mit undurchsichtigen Vorhängen.
- Es ist wünschenswert, den Projektor in einem Raum zu installieren, dessen Boden und Wände nicht aus lichtreflektierendem Material bestehen. Bestehen Fußboden und Wände aus reflektierendem Material, wird empfohlen, Teppichboden und Tapete durch eine dunklere Art zu ersetzen.

Info zur Verhütung eines internen Wärmestaus

Das Gerät besitzt Lüftungsöffnungen an der Unterseite (Einlass) und an der Seite (Auslass). Diese Öffnungen dürfen nicht blockiert oder durch Gegenstände zugestellt werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder Beschädigung des Gerätes verursachen kann.

Reinigung

Vor dem Reinigen

Ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.

Info zur Reinigung des Luftfilters

- Reinigen Sie den Luftfilter bei jedem Auswechseln der Lampe.
- Einzelheiten zur Reinigung des Luftfilters finden Sie unter „Reinigen des Luftfilters“.

Info zur Reinigung des Objektivdeckels

Die Oberfläche des Objektivdeckels ist speziell behandelt, um die Reflexion von Licht zu reduzieren.
Da durch falsche Wartung die Leistung des Projektors beeinträchtigt werden kann, sind folgende Hinweise zu beachten:

- Vermeiden Sie eine Berührung des Objektivdeckels. Um Staub vom Objektiv zu entfernen, wischen Sie es mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch, Reinigungsmittel oder Verdünner.
- Wischen Sie den Objektivdeckel vorsichtig mit einem weichen Tuch, wie z. B. einem Reinigungstuch oder einem Glasreinigungstuch, ab.
- Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem weichen Tuch, etwa einem

Glasreinigungstuch, das leicht mit Wasser angefeuchtet ist.
- Verwenden Sie keinesfalls Lösungsmittel, wie Alkohol, Benzin oder Verdünner, Säuren, Laugen, Scheuermittel oder chemische Reinigungstücher, da diese die Oberfläche des Objektivdeckels beschädigen.

Reinigen des Gehäuses

- Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch. Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem Tuch, das mit einer milden Reinigungslösung leicht angefeuchtet ist, und wischen Sie mit einem weichen, trockenen Tuch nach.
- Durch die Verwendung von Alkohol, Benzol, Verdünnung oder einem Insektizid kann die Oberfläche des Gehäuses beschädigt werden, oder die Beschriftungen auf dem Gehäuse können entfernt werden. Daher dürfen diese Chemikalien nicht verwendet werden.
- Durch Abwischen mit einem verschmutzten Tuch kann das Gehäuse zerkratzt werden.
- Bei längerem Kontakt des Gehäuses mit einem Gegenstand aus Gummi oder Vinylharz kann die Oberfläche beschädigt oder die Beschichtung abgelöst werden.

Info zum LCD-Projektor

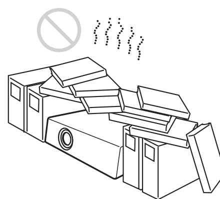
Der LCD-Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Projektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Wenn Sie mehrere LCD-Projektoren für die Projizierung auf einer Leinwand verwenden, kann außerdem selbst bei identischen Modellen die Farbwiedergabe bei den verschiedenen Projektoren variieren, da für jeden Projektor eigene Einstellungen der Farbbalance vorgenommen werden können.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

Ungeeignete Installation

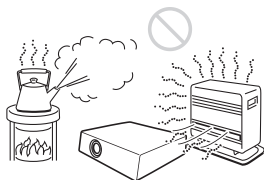
Installieren Sie das Gerät nicht unter den folgenden Bedingungen. **Derartige Installationsbedingungen können Funktionsstörungen oder Beschädigung** des Gerätes zur Folge haben.

Schlecht belüftete Orte



- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren können.
- Wenn es wegen einer Blockierung zu einem internen Wärmestau kommt, wird der Temperatursensor aktiviert und die Meldung „Zu heiß! Birne aus in 1 Min.“ angezeigt. Der Projektor schaltet sich nach einer Minute automatisch aus.
- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper, wie z.B. Papierschnipsel, durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

Sehr heiße und feuchte Orte



- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem Ort, der eine hohe Luftfeuchtigkeit oder sehr hohe oder niedrige Temperaturen aufweist.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.

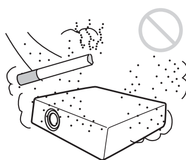
Direkte Einwirkung von kalter oder warmer Luft von einer Klimaanlage

Die Installation an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung des Gerätes führen, die durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg verursacht wird.

In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

Eine Funktionsstörung des Sensors kann verursacht werden.

Sehr staubiger oder extrem rauchiger Ort



Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen. Reinigen Sie den Luftfilter bei jedem Auswechseln der Lampe.

Benutzung in Höhenlagen

Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, setzen Sie „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“. Wird dieser Modus bei Verwendung des Gerätes in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

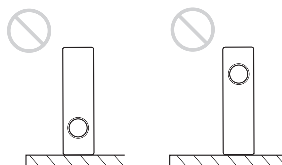
Hinweis zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Gerät oder der Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Gerätes.

Ungeeignete Bedingungen

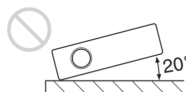
Benutzen Sie das Gerät nicht unter den folgenden Bedingungen.

Das Gerät nicht umkippen



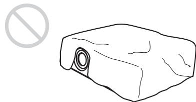
Vermeiden Sie den Betrieb bei Senkrechtstellung, weil das Gerät sonst umkippen kann. Dies kann zu einer Funktionsstörung führen.

Nicht nach rechts/links neigen



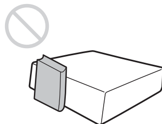
Vermeiden Sie den Betrieb des Gerätes bei einer Neigung von mehr als 20 Grad nach rechts oder links. Es könnte sonst zu einer Funktionsstörung kommen.

Nicht die Lüftungsöffnungen blockieren



Vermeiden Sie das Abdecken mit Material, das die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) blockiert, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Kein Hindernis direkt vor dem Objektiv aufstellen



Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Mit der Funktionstaste der Bildabschaltung können Sie das Bild abschalten.

Benutzung der CD-ROM-Anleitungen

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung und die ReadMe-Datei in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch, Chinesisch und Russisch. Lesen Sie zuerst die ReadMe-Datei durch.

Vorbereitungen

Um die Bedienungsanleitung auf der CD-ROM lesen zu können, benötigen Sie Adobe Acrobat Reader 5.0 oder später. Falls Adobe Acrobat Reader nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die Software Acrobat Reader von der Adobe Systems-Website kostenlos herunterladen.

So lesen Sie die Bedienungsanleitung

Die Bedienungsanleitung ist in der mitgelieferten CD-ROM enthalten. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Die CD-ROM wird dann kurz darauf automatisch gestartet. Wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.
Je nach der Einstellung des Computers startet die CD-ROM u.U. nicht automatisch. Öffnen Sie in diesem Fall die Bedienungsanleitungsdatei wie folgt:

(Im Falle von Windows)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“.

② Rechtsklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol, und wählen Sie „Explorer“.

③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

(Im Falle von Macintosh)

① Doppelklicken Sie auf das CD-ROM-Symbol auf dem Desktop.

② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“, und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

Hinweis

Falls sich die Datei „index.htm“ nicht öffnen lässt, doppelklicken Sie auf die gewünschte Bedienungsanleitung unter denen im Ordner „Operating_Instructions“.

Projizieren

Projizieren

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻.**

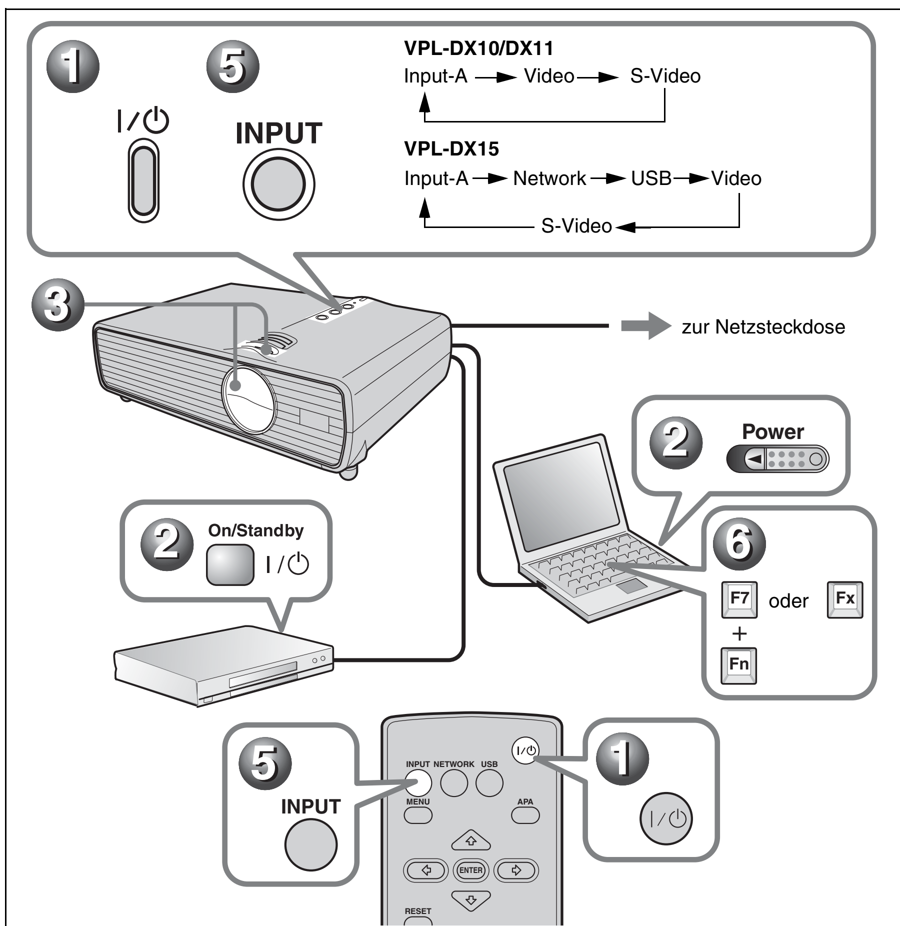
❷ **Schalten Sie das an den Projektor angeschlossene Gerät ein.**

❸ **Bewegen Sie den Objektivsteuerungshebel, um den Objektiv-Verschluss zu öffnen.**

❹ **Stellen Sie Bildposition, Größe und Schärfe ein.**
Siehe “Einstellen des Projektors” auf Seite 9.

❺ **Drücken Sie die Taste INPUT an der Fernbedienung oder am Bedienfeld zur Wahl der Eingangsquelle.**

❻ **Wenn Sie einen Computer anschließen, stellen Sie ihn so ein, dass das Signal nur an den externen Monitor ausgegeben wird.**



Einstellen des Projektors

❶ **Stellen Sie die Neigung (obere oder untere Position des Bildes) des Projektors mit den Einstellfüßen ein.**

Wenn Sie die Neigung mit den Einstellfüßen einstellen, erfolgt die V-Keystone-Einstellung automatisch.

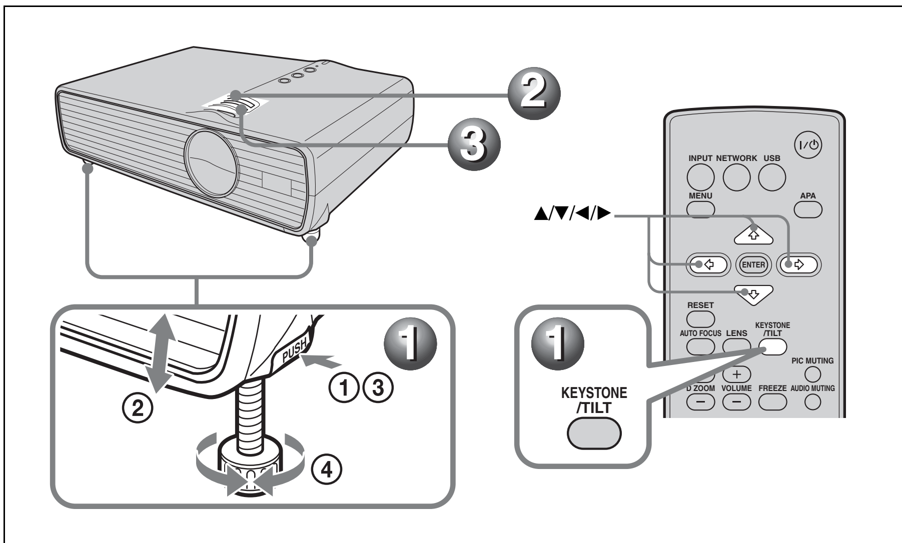
① Heben Sie den Projektor an und halten Sie gleichzeitig die Taste des Einstellfußes gedrückt.
② Stellen Sie die Neigung des Projektors ein.
③ Lassen Sie die Taste des Einstellfußes los.
④ Wenn eine Feineinstellung notwendig ist, drehen Sie den Einstellfuß nach rechts und links.

Manuelle Einstellung der Neigung

Rufen Sie das TILT-Menü mit der KEYSTONE/TILT-Taste auf der Fernbedienung auf und stellen Sie die Neigung mit den ▲/▼/◀/▶-Tasten ein.

❷ **Stellen Sie die Bildgröße mit dem Zoomring ein.**

❸ **Stellen Sie die Schärfe mit dem Fokusring ein.**



Ausschalten des Projektors

1 **Drücken Sie die Taste I/⏻.**

2 **Wenn eine Meldung erscheint, drücken Sie die Taste I/⏻ erneut.**

3 **Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Lüfter stehen bleibt und die Taste I/⏻ in Rot aufleuchtet.**

Auswechseln der Lampe

Die als Lichtquelle verwendete Lampe ist ein Verbrauchsprodukt. Ersetzen Sie daher die Lampe in den folgenden Fällen durch eine neue.

- Wenn die Lampe durchgebrannt ist oder schwach wird
- „Lampentausch erforderlich." erscheint auf der Leinwand
- Die LAMP/COVER Anzeige blinkt orange (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen) (Auf Seite 14 finden Sie eine weitere mögliche Ursache.)

Die Lampenlebensdauer hängt von den Benutzungsbedingungen ab.
Verwenden Sie eine Projektorlampe LMP-D200 als Ersatzlampe.
Werden anstelle der Lampe LMP-D200 andere Lampen verwendet, kann der Projektor beschädigt werden.

Vorsicht

Die Lampe bleibt auch nach dem Ausschalten des Projektors mit der Taste I/⏻ noch längere Zeit heiß. **Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich die Finger verbrennen. Lassen Sie die Lampe mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.**

Hinweise

- **Wenn die Lampe zerbricht, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.**
- Ziehen Sie die Lampe am Griff heraus. Falls Sie die Lampe berühren, können Sie sich verbrennen oder verletzen.
- Achten Sie beim Herausnehmen der Lampe darauf, dass sie horizontal bleibt, und ziehen Sie sie gerade nach oben. Die Lampe nicht kippen. Falls Sie die Lampeneinheit schräg herausziehen und die Lampe bricht, können die Bruchstücke verstreut werden und Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

Hinweis

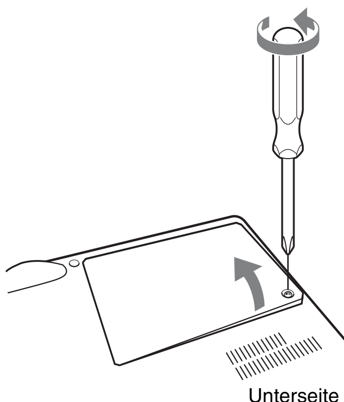
Lassen Sie die Lampe nach dem Gebrauch des Projektors mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.

2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor. Drehen Sie den Projektor um, so dass er auf der Oberseite liegt.

Hinweis

Achten Sie darauf, dass der Projektor nach dem Umdrehen stabil liegt.

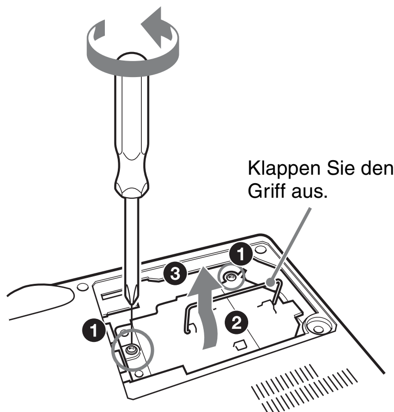
3 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der Schraube mit einem Kreuzschlitzschraubenzieher.



Hinweis

Lösen Sie aus Sicherheitsgründen keine anderen Schrauben.

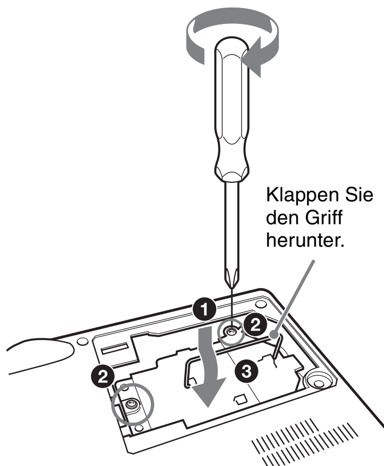
4 Lösen Sie die zwei Schrauben an der Lampeneinheit mit dem Kreuzschlitzschraubenzieher (❶). Klappen Sie den Griff aus (❷), und ziehen Sie dann die Lampeneinheit am Griff heraus (❸).



Vorsicht

Greifen Sie nicht in den Lampensteckplatz, und achten Sie darauf, dass keine Flüssigkeiten oder Fremdkörper in den Steckplatz eindringen, **um einen elektrischen Schlag oder Brand zu vermeiden**.

5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie richtig sitzt (❶). Ziehen Sie die zwei Schrauben an (❷). Klappen Sie den Griff wieder ein (❸).



Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie weder den Glaskörper der Lampe noch den innen liegenden Leiter berühren.
- Setzen Sie den Griff mit etwas Druck ein, damit er fest sitzt.
- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, falls die Lampe nicht einwandfrei gesichert ist.

6 Schließen Sie die Lampenabdeckung und ziehen Sie die Schraube an.

Hinweis

Befestigen Sie die Lampenabdeckung wieder vorschriftsmäßig. Anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

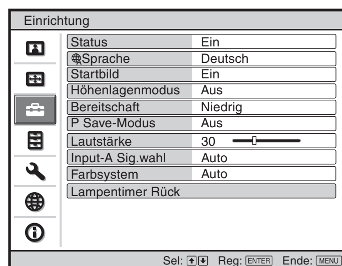
7 Drehen Sie den Projektor wieder um.

8 Schließen Sie das Netzkabel an.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot.

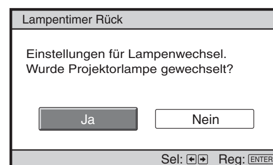
9 Schalten Sie den Projektor mit der Taste I/⏻ ein.

10 Drücken Sie die Taste MENU und wählen Sie das Menü Einrichtung.

11 Wählen Sie „Lampentimer Rück" und drücken Sie dann die Taste ENTER.



„Einstellungen für Lampenwechsel. Wurde Projektorlampe gewechselt?" wird im Menübildschirm angezeigt.



12 Wählen Sie „Ja" mit der Taste ◀ und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Der Lampentimer wird auf 0 gesetzt und „Lampentimer-Rückstellung fertig!" wird im Menübildschirm angezeigt.

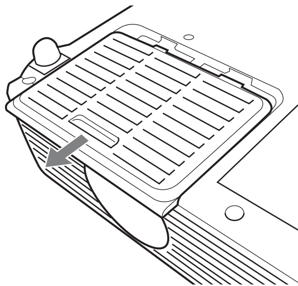
Reinigen des Luftfilters

Der Luftfilter muss nach ca. 500 Betriebsstunden gereinigt werden.
Entfernen Sie die Luftfilterabdeckung und wischen Sie dann den Staub mit einem Tuch ab, das mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet wurde.
Die für die Reinigung des Luftfilters erforderliche Zeit hängt von der Umgebung oder der Benutzungsweise des Projektors ab.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor und drehen Sie den Projektor um.

3 Entfernen Sie die Luftfilterabdeckung.



4 Entnehmen Sie den innen liegenden Filter und wischen Sie dann den Staub mit einer milden Reinigungslösung ab.

5 Setzen Sie den Filter wieder in die Luftfilterabdeckung ein.

6 Bringen Sie die Luftfilterabdeckung wieder an.

Hinweise

- Falls sich der Staub nicht mehr vom Luftfilter entfernen lässt, ersetzen Sie den Luftfilter durch einen neuen.
- Um Einzelheiten über den neuen Luftfilter zu erfahren, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Sony-Personal.
- Achten Sie auf einen festen Sitz der Luftfilterabdeckung; wenn der Luftfilter nicht ordnungsgemäß angebracht ist, können Probleme auftreten.

Fehlerbehebung

Falls der Projektor nicht richtig zu funktionieren scheint, versuchen Sie zunächst, die Störung mithilfe der folgenden Anweisungen ausfindig zu machen und zu beheben. Sollte die Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal. Einzelheiten zu den Symptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Der Projektor lässt sich nicht einschalten.	• Das Netzkabel ist nicht angeschlossen. ➔ Achten Sie auf einen festen Sitz des Netzkabels. • Die Lampe oder Lampenabdeckung sitzt nicht richtig. ➔ Schließen Sie die Lampe oder Lampenabdeckung einwandfrei.

Bild

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Bild.	• Der Projektor lässt sich nicht einschalten. ➔ Schalten Sie das Gerät ein. • Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Der Objektiv-Verschluss ist geschlossen. ➔ Öffnen Sie den Objektiv-Verschluss. • Die Eingangswahl ist falsch. ➔ Wählen Sie die korrekte Eingangsquelle. • Das Bild ist abgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um die Bildabschaltung aufzuheben. • Der Computer ist so eingestellt, dass sein Signal entweder gar nicht zu einem externen Monitor oder sowohl als auch zum LCD-Monitor des Computers ausgegeben wird. ➔ Stellen Sie den Computer so ein, dass die Signalausgabe nur an einen externen Monitor erfolgt.
Das Bild ist verrauscht.	Möglicherweise ist das Anschlusskabel nicht richtig angeschlossen. ➔ Prüfen Sie, ob das Anschlusskabel ordnungsgemäß angeschlossen ist.
Die Bildschirmanzeige erscheint nicht.	„Status“ im Menü Einrichtung wurde auf „Aus“ eingestellt. ➔ Stellen Sie „Status“ im Menü Einrichtung auf „Ein“ ein.
Die Farbbalance ist falsch.	• Die Einstellung für die Bildqualität ist nicht korrekt. ➔ Stellen Sie die Bildqualität im Menü Bild ein. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetzen. • Die Einstellung von „Input-A Sig.wahl“ im Menü Einrichtung ist nicht richtig. ➔ Wählen Sie je nach Eingangssignal „Computer“, „Video GBR“ oder „Komponenten“. • Der Projektor ist auf das falsche Farbsystem eingestellt. ➔ Stellen Sie „Farbsystem“ im Menü Einrichtung auf das Farbsystem des eingespeisten Signals ein.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Bild ist zu dunkel.	• Kontrast oder Helligkeit sind nicht korrekt eingestellt. ➔ Stellen Sie Kontrast oder Helligkeit im Menü Bild richtig ein. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze. • Die Lampe ist durchgebrannt oder schwach. ➔ Prüfen Sie die Einstellung „Lampentimer“ im Menü Informationen.
Das Bild ist nicht klar.	• Das Bild ist unscharf. ➔ Stellen Sie die Schärfe ein. • Kondensation hat sich auf dem Objektiv niedergeschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet.
Das Bild steht von der Leinwand über.	• Die Taste APA ist gedrückt worden, obwohl schwarze Ränder um das Bild vorhanden sind. ➔ Projizieren Sie das volle Bild auf die Leinwand, und drücken Sie die Taste APA. • Die Bildschirmeinstellung ist nicht korrekt. ➔ Passen Sie „Lage“ im Menü für die Einstellung von Bildschirm an. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze.
Das Bild flimmert.	Die Bildschirmeinstellung ist nicht korrekt. ➔ Passen Sie „Phase“ im Menü Bildschirm an. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze.
Das Seitenverhältnis der Anzeige ist nicht korrekt.	Die Bildschirmeinstellung ist nicht korrekt. ➔ Passen Sie „Seitenverhältnis“ im Menü für die Einstellung von Bildschirm an. ➔ Sie können alle Einstellungswerte auf die Standardeinstellung zurücksetze.

Ton

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Kein Ton.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Das verwendete Audiokabel ist falsch. ➔ Verwenden Sie ein widerstandsfreies Stereo-Audiokabel. • Der Ton ist stummgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste AUDIO MUTING, um die Ton-Abschaltung aufzuheben. • Der Ton ist nicht richtig eingestellt. ➔ Stellen Sie die Lautstärke mit der Taste VOLUME +/– an der Fernbedienung ein.

Anzeigen

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt orange. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	Die Lampenabdeckung ist gelöst. ➔ Bringen Sie die Abdeckung einwandfrei an.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt orange. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)	• Es herrscht eine hohe Temperatur im Gerät und der Temperatursensor wurde aktiviert. → Vergewissern Sie sich, dass weder Ein- noch Auslass für die Lüftung blockiert ist. • Die Lampe ist zu heiß geworden. → Lassen Sie die Lampe 90 Sekunden lang abkühlen, bevor Sie den Projektor wieder einschalten. Wenn Sie die oben genannten Punkte überprüft haben und einer der Fehler erneut auftritt, kann dies folgende Gründe haben: • Die Lampe muss ausgetauscht werden, da sie das Ende ihrer Betriebsdauer erreicht hat. • Es herrscht eine hohe Temperatur im Gerät und die Temperatursicherung ist durchgebrannt. → Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Innentemperatur ist ungewöhnlich hoch. → Stellen Sie sicher, dass die Lüftungsöffnungen durch nichts blockiert werden. • Der Projektor wird in großer Höhe benutzt. → Vergewissern Sie sich, dass „Höhenlagenmodus“ im Menü Einrichtung auf „Ein“ eingestellt ist.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot. (Wiederholrate von 4 Blinkzeichen)	Der Lüfter ist defekt. → Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot. (Wiederholrate von 6 Blinkzeichen)	Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, nachdem die Taste I/⏻ erloschen ist, schließen Sie dann das Netzkabel wieder an die Netzsteckdose an, und schalten Sie den Projektor wieder ein. Wenn die Taste I/⏻ rot blinkt und das Problem weiterhin bestehen bleibt, liegt eine Störung im elektrischen System vor. Oder es herrscht eine hohe Temperatur im Gerät und die Temperatursicherung ist durchgebrannt. → Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.

Spezifikationen

Projektionssystem
Projektionssystem mit 3 LCD-Panels und 1 Objektiv
LCD-Panel 0,63-Zoll (16,0 mm)-XGA-Panel, ca. 2.360.000 Pixel (786.432 Pixel × 3)
Objektiv 1,2-fach-Zoomobjektiv
Brennweite 18,63 mm bis 22,36 mm/F1,65 bis 1,8
Lampe 200 W Ultrahochdruck-Quecksilberlampe
Projektionsbildgröße (diagonal gemessen)
40 Zoll bis 300 Zoll (1.016 mm bis 7.620 mm)
Lichtleistung VPL-DX10: 2.500 Lumen
VPL-DX11/DX15: 3.000 Lumen
(Bei Einstellung des Lampenmodus auf „Hoch".)
Projektionsentfernung
Siehe „Installieren des Projektors und Installationsdiagramm" in der „Bedienungsanleitung" auf der mitgelieferten CD-ROM.
Farbsystem NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60-System, automatische/manuelle Umschaltung
(Das Farbsystem NTSC4.43 wird verwendet, wenn ein Band, das auf einem Videorecorder des Systems NTSC4.43 aufgenommen wurde, wiedergegeben wird.)
Auflösung 750 horizontale TV-Zeilen (Videoeingang)
1.024 × 768 Punkte (RGB-Signaleingabe)
Akzeptable Computersignale[1)]
fH: 19 kHz bis 80 kHz
fV: 48 Hz bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: SXGA+ 1.400 × 1.050 fV: 60 Hz)

1) Stellen Sie Auflösung und Frequenz des vom angeschlossenen Computer ausgegebenen Signals innerhalb des Bereichs der akzeptablen Vorwahlsignale des Projektors ein.

Verwendbare Videosignale
15 k RGB/Komponentensignal 50/60 Hz, Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), FBAS-Videosignal, Y/C
Abmessungen
ca. 295 × 74 × 204 mm (B/H/T) (ohne vorstehende Teile)
Gewicht VPL-DX10/DX11: ca. 2,1 kg
VPL-DX15: ca. 2,2 kg
Stromversorgung
100 V bis 240 V Wechselstrom, 3,6 A bis 1,6 A, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme
VPL-DX15: Max. 320 W
im Bereitschaftsmodus (Standard): 10,5 W
im Bereitschaftsmodus (Niedrig): unter 1,0 W
VPL-DX10/DX11: Max. 320 W
im Bereitschaftsmodus (Standard): 5,5 W
im Bereitschaftsmodus (Niedrig): unter 1,0 W
Betriebstemperatur
0 °C bis 35 °C
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Lithiumbatterie CR2025 (1)
HD D-sub-Kabel, 15-polig (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony) oder (1-791-992-61/Sony)
Tragetasche (1)
Netzkabel (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)
Kurzreferenz (1)
Sicherheitsaufkleber (1)

Änderungen an Gerät und Sonderzubehör, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Sonderzubehör

Projektorlampe
LMP-D200 (Ersatz)
Präsentationstool
RM-PJPK1

Das genannte Sonderzubehör ist nicht in allen Ländern und Regionen erhältlich. Bitte überprüfen Sie die Verfügbarkeit bei Ihrem Sony-Fachhändler vor Ort.

ATTENZIONE

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

ATTENZIONE

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

ATTENZIONE

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

Avviso per i clienti

Le dichiarazioni per ciascuna nazione/area geografica sono valide solo per gli apparecchi venduti in tale nazione/area geografica.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

ATTENZIONE

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

ATTENZIONE

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.
Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

Solo per VPL-DX15

Per i clienti in Europa

Avviso per i clienti: le seguenti informazioni sono valide solo per gli apparecchi venduti nei paesi che applicano le direttive UE.



Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti paesi:

AT	BE	BG	CY	CZ	DK	EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	PT	RO
SK	SI	ES	SE	GB	IS	LI	NO	CH		

Con la presente Sony Corporation dichiara che questo VPL-DX15/Data Projector è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE. Per ulteriori dettagli, si prega di consultare il seguente URL:
http://www.compliance.sony.de/

Per i clienti in Francia

La funzione WLAN del presente proiettore deve essere utilizzata esclusivamente all'interno di edifici.

Per i clienti in Italia

L'utilizzo della rete RLAN è regolato:

- relativamente all'uso privato, dal Decreto Legislativo del 1.8.2003, n. 259 ("Codice delle comunicazioni elettroniche"). In particolare, l'Articolo 104 indica i casi in cui è necessario ottenere preventivamente un'autorizzazione generale, mentre l'Articolo 105 specifica i casi in cui è consentito il libero uso;
- relativamente alla fornitura al pubblico dell'accesso RLAN ai servizi e alle reti di telecomunicazione, dal Decreto Ministeriale del 28.5.2003 e successive modifiche, e dall'Art. 25 (autorizzazione generale per i servizi e le reti delle comunicazioni elettroniche) del Codice delle comunicazioni elettroniche
- relativamente all'uso privato, dal Decreto Ministeriale del 12.07.2007

Per i clienti a Cipro

L'utente finale deve registrare i dispositivi RLAN presso il Dipartimento delle comunicazioni elettroniche (P.I. 6/2006 e P.I. 6A/2006).

P.I. 6/2006 è l'Ordinamento sulle radiocomunicazioni (Categorie di stazioni radio soggette ad autorizzazione generale e registrazione) del 2006.
P.I. 6A/2006 è l'autorizzazione generale per l'uso delle radiofrequenze da parte di LAN (Local area Networks – reti locali) radio e WAS (Wireless Access Systems - sistemi di accesso wireless) incluse le reti LAN radio (WAS/RLAN).

Per i clienti in Norvegia

L'uso del presente apparecchio radio non è consentito nell'area geografica compresa entro un raggio di 20 km dal centro di Ny-Ålesund, Svalbard.

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se dei liquidi o degli oggetti dovessero cadere nel mobile, scollegare l'unità e, prima di utilizzarla nuovamente, farla controllare da personale Sony qualificato.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- Finché l'unità è collegata alla presa a muro, non è elettricamente isolata dall'alimentazione CA, anche se l'unità è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non mettere le mani o degli oggetti in prossimità delle aperture di ventilazione (scarico) — l'aria che ne fuoriesce è calda.
- Nel regolare l'altezza dell'unità, prestare attenzione a non pizzicare le dita nel dispositivo di regolazione. Non premere con forza la parte superiore dell'unità quando il dispositivo di regolazione è allungato.
- Per trasportare l'unità, afferrare i due lati della medesima con ambedue le mani.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.
- Coprire eventuali finestre davanti allo schermo con tendaggi opachi.
- Si consiglia di installare il proiettore in un locale in cui il pavimento e le pareti siano di materiali non riflettenti. Se il pavimento e le pareti fossero di materiali riflettenti, si consiglia di cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Prevenzione del surriscaldamento interno

L'unità è dotata di aperture di ventilazione (aspirazione) sul fondo e di aperture di ventilazione (scarico) sul lato. Non ostruire né mettere alcun oggetto in prossimità di tali aperture, per evitare il surriscaldamento interno che provocherebbe degrado dell'immagine o guasto dell'unità.

Pulizia

Prima della pulizia

Assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa CA.

Pulizia del filtro dell'aria

- Pulire il filtro dell'aria ogni volta che si sostituisce la lampada.
- Per la pulizia del filtro dell'aria, fare riferimento a "Pulizia del filtro dell'aria".

Pulizia del coperchio dell'obiettivo

La superficie del coperchio dell'obiettivo è appositamente trattata per ridurre la riflessione della luce.
Una manutenzione non corretta può ridurre le prestazioni del proiettore, pertanto, prestare attenzione a quanto segue:

- Non toccare il coperchio dell'obiettivo. Per spolverare l'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non usare un panno umido, soluzione di detersivo o diluente.
- Pulire delicatamente il coperchio dell'obiettivo con un panno morbido, ad esempio con un panno per la pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Rimuovere le macchie ostinate con un panno morbido, come un panno per la pulizia o per i vetri, leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare mai solventi quali alcol, benzene o diluente, né detergenti alcalini, abrasivi o acidi, né panni per pulizia contenenti agenti chimici, poiché potrebbero danneggiare la superficie del coperchio dell'obiettivo.

Pulizia delle parti esterne dell'apparecchio

- Pulire delicatamente l'apparecchio con un panno morbido e asciutto. Rimuovere le

macchie ostinate utilizzando un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata, quindi asciugare con un panno morbido asciutto.
- L'uso di alcol, benzene, diluente o insetticida può danneggiare la finitura dell'apparecchio o rimuovere le indicazioni su di esso. Non utilizzare queste sostanze chimiche.
- Non sfregare l'apparecchio con un panno macchiato, per evitare di graffiarlo.
- Se l'apparecchio entra in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, la finitura potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.

Proiettore LCD

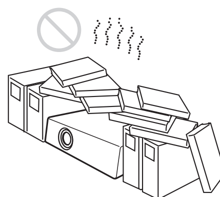
Il proiettore LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia potrebbero essere visibili dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi) che appaiono in modo permanente sul proiettore LCD. Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto. Inoltre, usando più proiettori LCD per proiettare su uno schermo, anche se sono dello stesso modello, la risoluzione dei colori dei vari proiettori può cambiare in quanto il bilanciamento dei colori potrebbe essere impostato diversamente da un proiettore all'altro.

Note su installazione e uso

Installazione inadeguata

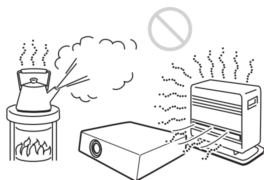
Non installare l'unità nelle condizioni che seguono. **Queste installazioni potrebbero causare malfunzionamenti o guasti** dell'unità.

Ventilazione insufficiente



- Fare in modo che la circolazione dell'aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'unità su superfici (tappeti, coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le prese di ventilazione.
- Quando si verifica surriscaldamento interno dovuto all'ostruzione, interviene il sensore di temperatura e viene visualizzato il messaggio "Temp. alta! Lamp. off 1 min." Trascorso un minuto, l'alimentazione si spegnerà automaticamente.
- Lasciare uno spazio di almeno 30 cm intorno all'unità.
- Prestare attenzione che oggetti leggeri come pezzi di carta potrebbero essere aspirati dalle prese di ventilazione.

Temperatura e umidità elevate



- Non installare l'unità in una posizione dove la temperatura o l'umidità è molto elevata o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.

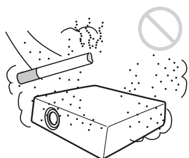
Aria fredda o calda da un condizionatore

L'installazione in una posizione di questo genere potrebbe provocare malfunzionamenti dell'unità dovuti a condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.

Vicino a un sensore di calore o di fumo

Potrebbe causare un malfunzionamento del sensore.

Molta polvere, moltissimo fumo



Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità. La polvere che impedisce il passaggio dell'aria attraverso il filtro potrebbe causare un aumento della temperatura interna dell'unità. Pulire il filtro dell'aria ogni volta che si sostituisce la lampada.

Uso a quote elevate

Quando si usa l'unità a una quota di 1.500 m o superiore, impostare “Modo quota el.” su “Inser.” nel menu Impostazione. Se non viene impostato questo modo quando l'unità è usata a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.

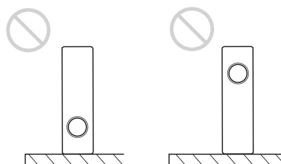
Nota sullo schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e l'unità o dell'ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento dell'unità.

Condizioni inadatte

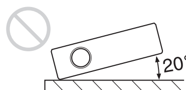
Non utilizzare l'unità nelle condizioni che seguono.

Non ribaltare l'unità



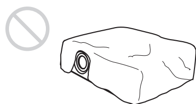
Non usare l'unità ribaltata su un lato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Non inclinare l'unità a destra/ sinistra



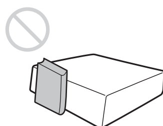
Non usare l'unità inclinata più di 20 gradi a destra o a sinistra. Tali installazioni potrebbero provocare malfunzionamenti.

Non ostruire le aperture di ventilazione



Per evitare surriscaldamento interno, non coprire le aperture di ventilazione (scarico/ aspirazione).

Non mettere alcun ostacolo davanti all'obiettivo



Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Utilizzare il tasto della funzione di disattivazione dell'immagine per escludere l'immagine.

Uso dei manuali su CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le istruzioni d'uso e il file ReadMe in giapponese, inglese, francese, tedesco, italiano, spagnolo, cinese e russo. Fare innanzi tutto riferimento al file ReadMe.

Preparazione

Per leggere le istruzioni d'uso su CD-ROM è necessario Adobe Acrobat Reader 5.0 o successivo. Se sul computer di cui si dispone non è installato Adobe Acrobat Reader, è possibile scaricare gratuitamente il software Acrobat Reader dall'URL di Adobe Systems.

Leggere le istruzioni d'uso

Le istruzioni d'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CD-ROM nell'apposita unità del computer e dopo un momento sì avvierà automaticamente. Selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.
In funzione del computer utilizzato il CD-ROM potrebbe non avviarsi automaticamente. In tal caso, aprire il file delle istruzioni d'uso come segue:

(Caso di Windows)

① Aprire "Risorse del computer".

② Fare clic con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM e selezionare "Esplora".

③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

(Caso di Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.

② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le istruzioni d'uso che si desidera leggere.

Nota

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle istruzioni d'uso che si desidera leggere fra quelle contenute nella cartella "Operating_Instructions".

Proiezione

Proiezione

❶ **Premere il tasto I/⏻.**

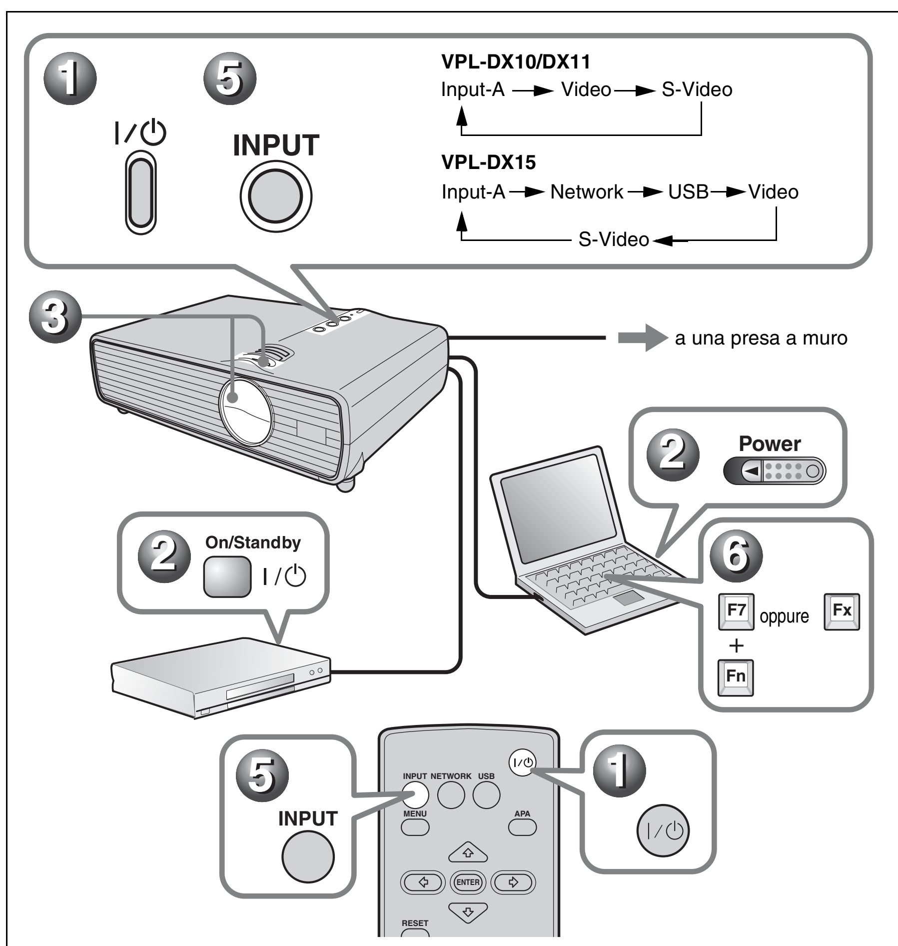
❷ **Accendere l'apparecchiatura collegata al proiettore.**

❸ **Muovere la leva dell'otturatore dell'obiettivo per aprire l'otturatore dell'obiettivo.**

❹ **Regolare la posizione, le dimensioni e la messa a fuoco dell'immagine.**
Vedere "Regolazione del proiettore" a pagina 9.

❺ **Premere il tasto INPUT sul telecomando o sul pannello di controllo per selezionare la sorgente d'ingresso.**

❻ **Quando il computer è collegato, impostarlo in modo che trasmetta il segnale solo al monitor esterno.**



Regolazione del proiettore

❶ **Regolare l'inclinazione (posizione superiore o inferiore dell'immagine) del proiettore con i dispositivi di regolazione.**

Quando si regola l'inclinazione con i dispositivi di regolazione, la regolazione Trapezio V viene effettuata automaticamente.

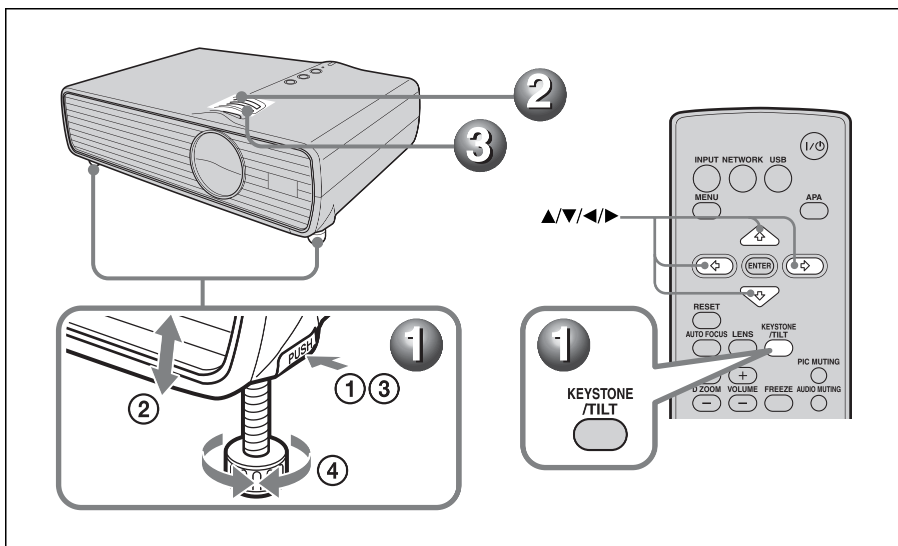
①Sollevare il proiettore tenendo premuto il pulsante del dispositivo di regolazione.
②Regolare l'inclinazione del proiettore.
③Rilasciare il pulsante del dispositivo di regolazione.
④Quando è necessaria una regolazione precisa, ruotare il dispositivo di regolazione verso destra e sinistra.

Per regolare l'inclinazione manualmente

Premere il tasto KEYSTONE/TILT sul telecomando per visualizzare il menu TILT e regolare l'inclinazione utilizzando i tasti ▲/▼/◀/▶.

❷ **Regolare le dimensioni dell'immagine con la ghiera dello zoom.**

❸ **Regolare la messa a fuoco con la ghiera della messa a fuoco.**



Spegnimento dell'alimentazione

1 **Premere il tasto I/⏻.**

2 **Quando appare un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻.**

3 **Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa di rete dopo che la ventola si è fermata e che il tasto I/⏻ si è accesa in rosso.**

Sostituzione della lampada

La lampada che costituisce la sorgente di luce è un prodotto consumabile. Perciò, sostituirla con una lampada nuova nei casi che seguono.

- Quando la lampada è bruciata o poco luminosa
- “Quando sullo schermo appare “Sostituire la lampadina.”
- La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi) (vedere a pagina 14 per individuare un’altra possibile causa).

La vita utile della lampada varia in funzione delle condizioni d’uso.
Come lampada per proiettore di ricambio usare la LMP-D200.
L’uso di qualsiasi altra lampada diversa dalla LMP-D200 potrebbe guastare il proiettore.

Nota

La lampada è ancora calda dopo aver spento il proiettore con il tasto I/⏻. **Toccando la lampada, ci si potrebbe ustionare le dita. Quando si sostituisce la lampada, aspettare almeno un’ora che si raffreddi.**

Note

- **Se la lampada si rompe, rivolgersi a personale Sony qualificato.**
- Estrarre la lampada afferrando la maniglia. Toccare la lampada potrebbe causare ustioni o lesioni.
- Per rimuovere la lampada, aver cura che rimanga in posizione orizzontale e tirare direttamente verso l’alto. Non inclinare la lampada. Se la lampada viene tirata fuori inclinata e si rompe, i frammenti potrebbero disperdersi, causando lesioni.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa c.a..

Nota

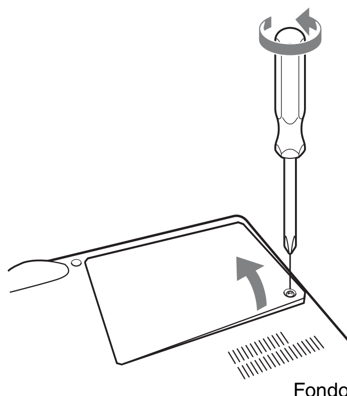
Quando si sostituisce la lampada dopo aver usato il proiettore, aspettare almeno un’ora che la lampada si raffreddi.

2 Mettere un telo (stoffa) di protezione sotto il proiettore. Rovesciare il proiettore in modo da vedere la parte inferiore.

Nota

Verificare che il proiettore rovesciato sia in posizione stabile.

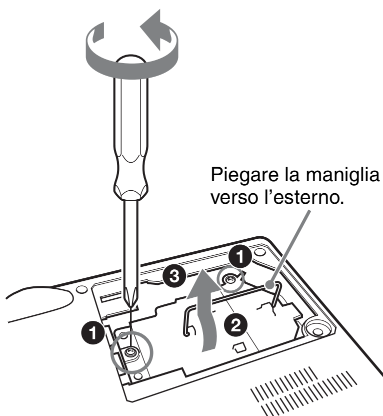
3 Aprire il coperchio della lampada svitando la vite con un cacciavite a stella.



Nota

Per motivi di sicurezza, non allentare alcuna altra vite.

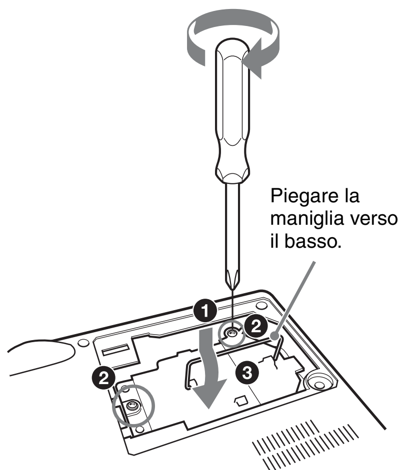
4 Allentare le due viti sull’unità della lampada con il cacciavite con punta a croce (❶). Sollevare la maniglia (❷), quindi usarla per tirare fuori l’unità della lampada (❸).



Attenzione

Non infilare le mani nella sede di sostituzione della lampada e fare in modo che non ci cadano dei liquidi o degli oggetti **per evitare scossa elettrica o incendio**.

5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione (❶). Serrare le due viti (❷). Mettere a posto la maniglia abbassandola (❸).



Note

- Prestare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada e un eventuale conduttore interno.
- Inserire saldamente la maniglia per fissarla bene.
- L'alimentazione non si accenderà se la lampada non è fissata correttamente.

6 Chiudere il coperchio della lampada e serrare la vite.

Nota

Aver cura di montare saldamente il coperchio della lampada come era in origine. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

7 Girare di nuovo il proiettore.

8 Collegare il cavo di alimentazione. Il tasto I/⏻ si illumina in rosso.

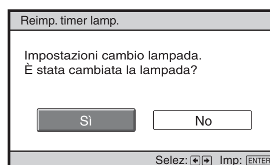
9 Premere il tasto I/⏻ per accendere il proiettore.

10 Premere il tasto MENU, quindi selezionare il menu Impostazione.

11 Selezionare "Reimp. timer lamp.", quindi premere il tasto ENTER.



"Impostazioni cambio lampada. È stata cambiata la lampada?" viene visualizzato nella schermata del menu.



12 Selezionare "Sì" con il tasto ◄, quindi premere il tasto ENTER.
Il Timer lampada viene inizializzato su 0 e "Timer lampada reimpostato!" viene visualizzato nella schermata del menu.

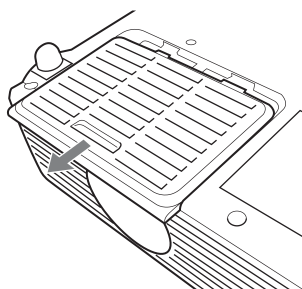
Pulizia del filtro dell’aria

Il filtro dell’aria dovrebbe essere pulito dopo circa 500 ore di utilizzo. Rimuovere il coperchio del filtro dell’aria, quindi rimuovere la polvere con un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata.
Il tempo necessario per pulire il filtro dell’aria dipende dall’ambiente o dall’uso del proiettore.

1 Spegnere l’alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Mettere un telo (stoffa) di protezione sotto il proiettore e capovolgere il proiettore.

3 Smontare il coperchio del filtro dell’aria.



4 Rimuovere il filtro all’interno, quindi pulire la polvere che contiene con un detergente delicato.

5 Reinserire il filtro nel coperchio del filtro dell’aria.

6 Rimontare il coperchio del filtro dell’aria.

Note

- Se non è possibile togliere la polvere dal filtro dell’aria, sostituirlo con un filtro nuovo.
- Per dettagli sul nuovo filtro dell’aria, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Assicurarsi di montare saldamente il filtro dell’aria; qualora il filtro dell’aria non venga installato correttamente, si potrebbe provocare un problema.

Risoluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e correggere il problema con le seguenti istruzioni. Se il problema permane, rivolgersi a personale Sony qualificato. Per dettagli sui sintomi, vedere le istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM.

Alimentazione

Sintomo	Causa e rimedio
L'alimentazione non si accende.	• Il cavo di alimentazione non è collegato. → Collegare saldamente il cavo di alimentazione CA. • La lampada o il relativo coperchio non sono fissati. → Chiudere saldamente la lampada o il relativo coperchio.

Immagine

Sintomo	Causa e rimedio
Nessuna immagine.	• L'alimentazione non si accende. → Spegnere l'apparecchio. • Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. → Verificare che i collegamenti siano stati effettuati correttamente. • L'otturatore dell'obiettivo è chiuso. → Aprire l'otturatore dell'obiettivo. • La selezione dell'ingresso è errata. → Selezionare correttamente la sorgente in ingresso. • L'immagine è disattivata. → Premere il tasto PIC MUTING per annullare la disattivazione dell'immagine. • Il segnale dal computer non è stato impostato per la visualizzazione su monitor esterno, oppure è stato impostato per la visualizzazione sia su un monitor esterno, sia sul monitor LCD del computer. → Impostare il segnale del computer per la visualizzazione solo su un monitor esterno.
L'immagine è rumorosa.	Il cavo di collegamento potrebbe non essere collegato correttamente. → Controllare se il cavo di collegamento sia collegato correttamente.
La visualizzazione su schermo non appare.	"Stato" nel menu Impostazione è stato impostato su "Disin.." → Impostare "Stato" nel menu Impostazione su "Inser.".
Il bilanciamento dei colori è errato.	• L'impostazione della qualità delle immagini non è appropriata. → Impostare la qualità delle immagini nel menu Immagine. → È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti. • L'impostazione di "Sel. segn. in. A" nel menu Impostazione è errata. → Selezionare correttamente "Computer", "Video GBR" o "Componenti" a seconda del segnale in ingresso. • Lo standard colore impostato sul proiettore è errato. → Impostare "Standard colore" nel menu Impostazione affinché corrisponda allo standard colore del segnale ricevuto in ingresso.

Sintomo	Causa e rimedio
L’immagine è troppo scura.	• Il contrasto o la luminosità non è stato regolato correttamente. ➔ Regolare correttamente il Contrasto o la Luminosità nel menu Immagine. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti. • La lampada è bruciata o poco luminosa. ➔ Regolare “Timer lampada” nel menu Informazioni.
L’immagine non è nitida.	• L’immagine non è a fuoco. ➔ Regolare la messa a fuoco. • Si è depositata della condensazione sull’obiettivo. ➔ Lasciare il proiettore acceso per circa due ore.
L’immagine si estende oltre lo schermo.	• È stato premuto il tasto APA nonostante ci siano dei bordi neri intorno all’immagine. ➔ Visualizzare sullo schermo l’immagine completa e premere il tasto APA. • L’impostazione dello schermo non è appropriata. ➔ Regolare “Spostamento” nel menu di impostazione Schermo. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti.
L’immagine sfarfalla.	L’impostazione dello schermo non è appropriata. ➔ Regolare “Fase” nel menu di impostazione Schermo. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti.
Il formato della visualizzazione non è corretto.	L’impostazione dello schermo non è appropriata. ➔ Regolare “Formato” nel menu di impostazione Schermo. ➔ È possibile riportare tutte le impostazioni ai valori predefiniti.

Audio

Sintomo	Causa e rimedio
Nessun audio.	• Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. ➔ Verificare che i collegamenti siano stati effettuati correttamente. • Il cavo di collegamento audio usato è errato. ➔ Utilizzare un cavo audio stereo a resistenza nulla. • L’audio è silenziato. ➔ Premere il tasto AUDIO MUTING per annullare la disattivazione audio. • L’audio non è regolato correttamente. ➔ Regolare l’audio con il tasto VOLUME +/– sul telecomando.

Spie

Sintomo	Causa e rimedio
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	Il coperchio della lampada è staccato. ➔ Montare saldamente il coperchio.

Sintomo	Causa e rimedio
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione. (Frequenza di ripetizione di 3 lampeggi)	• L’interno dell’unità ha raggiunto una temperatura elevata e il sensore della temperatura è stato attivato. → Controllare che non vi sia nulla che ostruisca la presa d’aria fresca e l’uscita di scarico. • La lampada ha raggiunto una temperatura elevata. → Attendere 90 secondi che la lampada si raffreddi, quindi riaccendere l’apparecchio. Dopo aver controllato i punti di cui sopra, qualora dovessero verificarsi problemi, si riportano di seguito le possibile cause: • La lampada deve essere sostituita, perché ha raggiunto il termine della vita utile. • L’interno dell’unità ha raggiunto una temperatura elevata e il fusibile della temperatura si è bruciato. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
Il tasto I/⏻ lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 2 lampeggi)	• La temperatura interna è insolitamente elevata. → Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite. • Il proiettore è utilizzato a una quota elevata. → Accertarsi che “Modo quota el.” nel menu Impostazione sia impostato su “Inser.”.
Il tasto I/⏻ lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 4 lampeggi)	La ventola è guasta. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
Il tasto I/⏻ lampeggia in rosso. (Frequenza di ripetizione di 6 lampeggi)	Scollegare il cavo di alimentazione CA dalla presa a muro dopo che il tasto I/⏻ si è spento, inserire il cavo di alimentazione nella presa a muro, quindi riaccendere il proiettore. Se il tasto I/⏻ lampeggia in rosso e il problema permane, si è verificato un guasto nel circuito elettrico. Oppure l’interno dell’unità ha raggiunto una temperatura elevata e il fusibile della temperatura si è bruciato. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.

Caratteristiche tecniche

Sistema di proiezione
3 LCD pannelli, 1 obiettivo, sistema di proiezione
Pannello LCD pannello XGA da 0,63 pollici (16,0 mm), circa 2.360.000 pixel (786.432 pixel × 3)
Obiettivo Obiettivo zoom da 1,2 ingrandimenti
f da 18,63 mm a 22,36 mm/F da 1,65 a 1,8
Lampada Lampada a mercurio ad altissima pressione di 200 W
Dimensione dell'immagine proiettata (misurata diagonalmente)
da 40 pollici a 300 pollici (1.016 mm a 7.620 mm)
Flusso luminoso
VPL-DX10: 2.500 lumen
VPL-DX11/DX15: 3.000 lumen
(Quando Modo lampada è impostato su "Alto")
Distanza di proiezione
Consultare "Installazione del proiettore e schema di installazione" nelle "Istruzioni d'uso" incluse nel CD-ROM in dotazione.
Standard colore
Standard NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, commutato automaticamente/manualmente
(NTSC4.43 è lo standard colore usato per riprodurre video registrato in NTSC su un videoregistratore NTSC4.43.)
Risoluzione 750 righe TV orizzontali (ingresso video)
1.024 × 768 punti (ingresso RGB)
Segnali da computer compatibili[1)]
fH: da 19 kHz a 80 kHz
fV: da 48 Hz a 92 Hz
(massima risoluzione del segnale di ingresso: SXGA+ 1.400 × 1.050
fV: 60 Hz)

1) Impostare la risoluzione e la frequenza del segnale del computer collegato entro l'intervallo dei segnali preimpostati compatibili con il proiettore.

Segnali video compatibili
15 k RGB, A componenti a 50/60 Hz, progressivo a componenti a 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), videocomposito, Y/C
Dimensioni circa 295 × 74 × 204 mm (l/a/p) (escluse le parti sporgenti)
Massa VPL-DX10/DX11: Circa 2,1 kg
VPL-DX15: circa 2,2 kg
Requisiti di alimentazione
da 100 V a 240 V CA, da 3,6 A a 1,6 A, 50/60 Hz
Potenza assorbita
VPL-DX15: Max. 320 W
in attesa (Standard): 10,5 W
in attesa (Basso): meno di 1,0 W
VPL-DX10/DX11: Max. 320 W
in attesa (Standard): 5,5 W
in attesa (Basso): meno di 1,0 W
Temperatura di funzionamento
da 0 °C a 35 °C
Accessori forniti
Telecomando (1)
Pila al litio CR2025 (1)
Cavo HD D-sub a 15 pin (2 m) (1) (1-791-992-51/Sony) o (1-791-992-61/Sony)
Custodia per il trasporto (1)
Cavo di alimentazione CA (1)
Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)
Guida rapida all'uso (1)
Normative di sicurezza (1)
Targhetta di sicurezza (1)

Il design e le caratteristiche tecniche dell'unità, inclusi gli accessori opzionali, sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Accessori opzionali

Lampada del proiettore
LMP-D200 (ricambio)
Strumento di presentazione
RM-PJPK1

Non tutti gli accessori opzionali sono disponibili in tutte le nazioni e aree geografiche.
Consultare il proprio rivenditore autorizzato Sony.

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告

此设备必须接地。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。
在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

消费者注意事项

每个国家 / 地区的声明仅适用于在该国家 / 地区销售的设备。

重要

设备铭牌位于底部。

警告

1 请使用经过认可的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。
2 请使用符合特定额定值 （电压、电流）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

【电池使用安全须知】

- 不得将电池充电。
- 不得将电池投入火中，加热、分解或改造。
- 应使用指定种类的电池。
- 应使用推荐期限内的电池。
- 应按极性正确安装电池。
- 应及时取出耗尽电池。
- 不得将电池新旧混用。
- 不得将电池弃于水、海水，或弄湿。
- 不得将电池放在小孩容易触及的地方。
- 严禁直接焊接电池。
- 应正确安装电池以防止电池短路。

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请 Sony 公司专业技术人员咨询检查后方可继续使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔（排气）附近，此外排出的空气较热。
- 当您调节本机的高度时，小心不要让调节器夹到您的手指。不要在调节器伸出的状态下用力按压投影机的顶部。
- 搬运本机时，确保用双手抓紧本机的两侧。

关于照明

- 为了获得最佳图像，不应该让屏幕的前面暴露在直射照明或阳光下。
- 用不透明的帷幕遮盖所有面向屏幕的窗户。
- 建议将本机安装在地板和墙壁未采用反光材料的房间里。如果地板和墙壁采用反光材料，建议将地毯和壁纸换成暗色。

防止内部蓄热须知

本机的底部装备有通风孔（进气），侧面装备有通风孔（排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏本机。

清洁方面

清洁前

确保从交流插座上拔下交流电源线。

关于清洁空气滤网

- 请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。
- 有关空气滤网的清洁方法，请参阅“清洁空气滤网”。

清洁镜头

此镜头表面进行了特殊处理，可以减少反射光。
维护不当可能会削弱投影机的性能，因此需要注意以下几点：

- 请勿触摸镜头。要清除镜头上的灰尘时，请使用干燥的软布。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 请使用软布如清洁布或玻璃清洁布轻轻擦拭镜头。
- 使用浸过水的潮湿软布如清洁布或玻璃清洁布可以擦除顽固的污渍。
- 千万不要使用溶剂，例如酒精、苯或稀释剂，或者酸性、碱性清洁剂或洗擦剂以及化学清洁布，因为它们会损坏镜头表面。

清洁机壳

- 使用柔软的干布轻轻擦拭机壳。使用浸过中性清洁剂的软布可以擦掉顽固的污渍，然后用柔软的干布擦拭。
- 使用酒精、苯、稀释剂或杀虫剂可能会破坏机壳的表面光泽，或者擦掉机壳上的指示。不要使用这些化学制品。
- 如果您使用脏布擦拭机壳，可能会刮伤机壳表面。
- 如果机壳长时间与橡胶或乙烯基树脂产品接触，机壳的表面涂层将会被破坏或脱落。

关于 LCD 投影机

本 LCD 投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 投影机的图像上持续显示微小的黑点和／或亮点（红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。
并且，当您使用多台 LCD 投影机投影在一个屏幕上时，即使是相同型号，投影机间的色彩再现可能会有不同，因为各个投影机的色彩平衡可能设置各异。

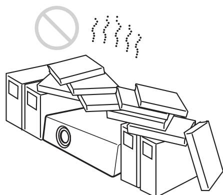
CS

安装和使用注意事项

不当安装

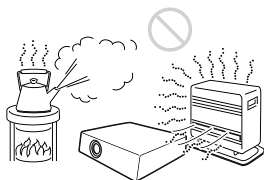
请不要在下述条件下安装本机。 **这些安装可能会导致故障或损坏本机。**

通风不良的地方



- 应保持通风良好以防止内部蓄热。 请不要将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面 （垫子、毯子等）或附近 （窗帘、帷帐）。
- 当由于障碍物堵塞通风孔而造成内部热量蓄积时，温度传感器将会工作并显示 “操作温度过高！ 将在 1 分钟之后关灯。”信息。1 分钟之后投影机电源将会自动关闭。
- 请在本机周围留出 30 cm 以上的空间。
- 小心不要让通风孔吸入微小物体，如纸片。

高热和潮湿环境



- 请避免将本机安装在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所。
- 为了避免水气凝结，请不要将本机安装在温度可能会急剧上升的场所。

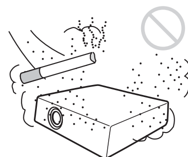
受空调的冷暖风直接吹拂的地方

在这样的场所安装可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机故障。

温度或烟雾传感器附近

可能会引起传感器的误动作。

多尘、多烟雾的地方



勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。 否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。 灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。 请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。

在高海拔地区使用

当在海拔 1500 米或更高的地区使用投影机时，请将 “设置”菜单中的 “高海拔高度模式”设置为 “开”。 当在高海拔地区使用本机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

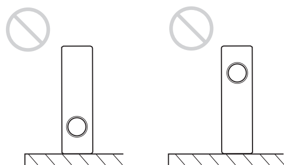
关于屏幕的注意事项

当在不平整的表面使用屏幕时，根据屏幕与本机之间的距离或变焦放大倍数的不同，极少数情况下可能会在屏幕上出现条纹图案。 这并非本机的故障。

不合适的条件

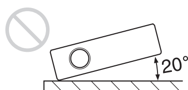
请不要在下述条件下使用本机。

请不要倾倒本机



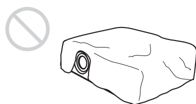
请避免在本机侧面倾倒时使用本机。 这可能会引起故障。

请不要向右／左倾斜本机



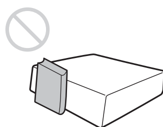
请避免在本机倾斜 20 度以上时使用本机。 这样的安装可能会引起故障。

请不要堵塞通风孔



请避免使用物品遮盖通风孔 （排气／进气）； 否则可能会造成内部热量蓄积。

请不要在镜头面前放置遮挡物品



在投影期间请勿在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。 来自光线的热量可能会造成物品损坏。 请使用图像静音功能停止投影。

使用 CD-ROM 手册

附带的 CD-ROM 中含有日语、英语、法语、德语、意大利语、西班牙语、中文和俄语版本的使用说明书和 ReadMe 文件。首先请阅读 ReadMe 文件。

准备工作

若要阅读 CD-ROM 中的使用说明书，需要有 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更高版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，可以从 Adobe Systems 的网站免费下载 Acrobat Reader 软件。

要阅读使用说明书

使用说明书包含在附带的 CD-ROM 中。
将附带的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器，片刻后 CD-ROM 会自动启动。 选择您想要阅读的使用说明书。
根据电脑的不同，CD-ROM 可能不会自动启动。这种情况下，请按以下步骤打开使用说明书的文件：

（使用 Windows 时）

① 打开 “My Computer”。

② 右击 CD-ROM 图标并选择 “Explorer”。

③ 双击 “index.htm” 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

（使用 Macintosh 时）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。

② 双击 “index.htm” 文件并选择您想要阅读的使用说明书。

注

如果无法打开 “index.htm” 文件，在 “Operating_Instructions” 文件夹中双击您想要阅读的使用说明书。

投影

投影

❶ 按 I/⏻ 键。

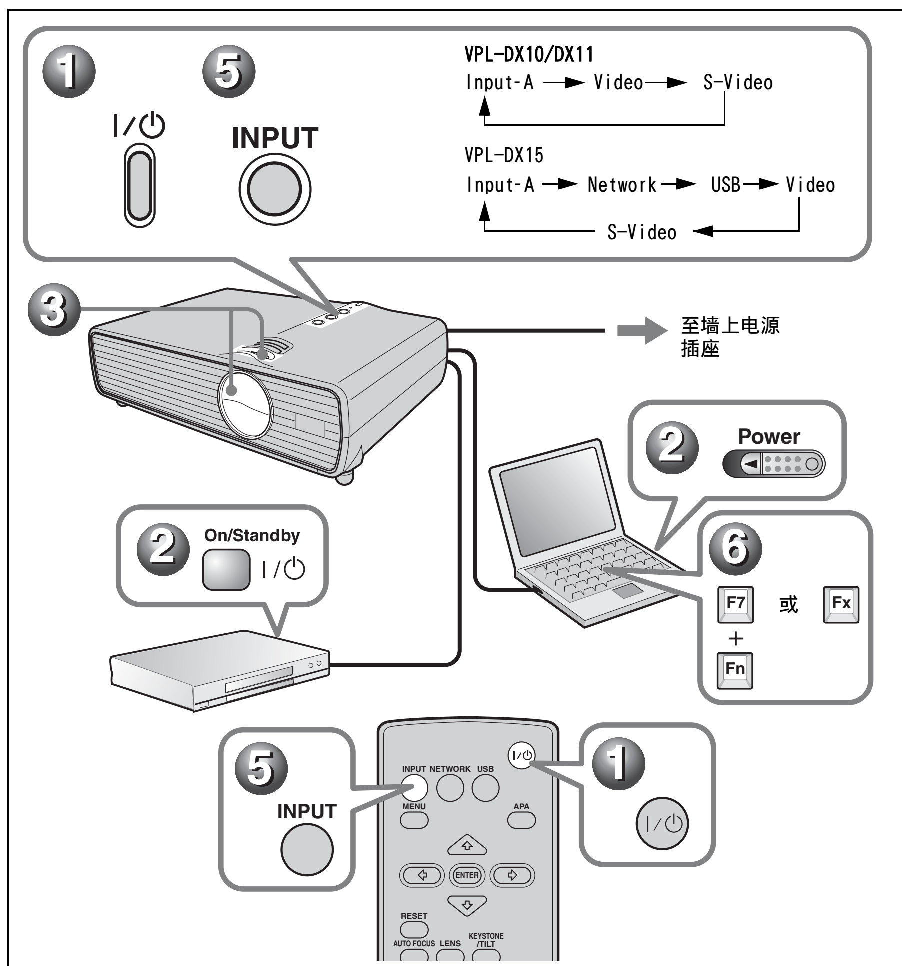
❷ 打开与投影机相连的设备。

❸ 移动透镜控制杆，打开透镜控制。

❹ 调节图像位置、尺寸和聚焦。
参见第 7 页上的 “调整投影机”。

❺ 按遥控器上或控制面板上的 INPUT 键选择输入源。

❻ 当连接电脑时，请将其设定为仅向外接显示器输出信号。

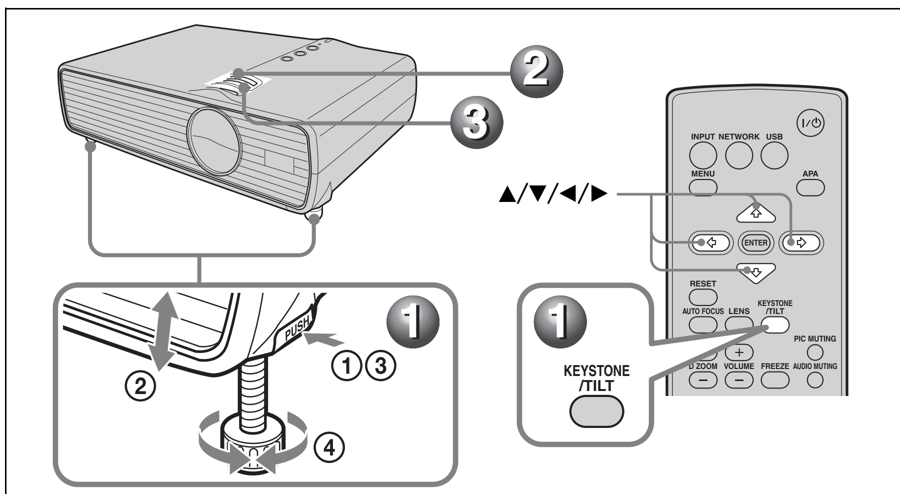


调整投影机

❶ **使用调节器调节投影机倾斜 （图像的上下位置）**
当要用调节器调节倾斜时，自动执行 V 梯形失真调节。
① 按住调节器按钮时升高投影机。
② 调节投影机倾斜。
③ 松开调节器按钮。
④ 当需要精确调节时，左右转动调节器。
要手动调节倾斜
按遥控器上的 KEYSTONE/TILT 键，显示 TILT 菜单，用 ▲/▼/◀/▶ 键调节倾斜。

❷ **用变焦环调节图像尺寸。**

❸ **用聚焦环调节聚焦。**



关闭电源

1 **按 I/⏻ 键。**

2 **当出现信息时，再次按 I/⏻ 键。**

3 **在冷却扇停止运转且 I/⏻ 键点亮呈红色后，从墙上电源插座拔下交流电源线。**

更换投影灯

光源所使用的投影灯是消耗品。 因此，在下述情况下请更换新的投影灯。
- 投影灯烧坏或变暗时
- 屏幕上出现 “请更换灯泡。”
- LAMP/COVER 指示灯闪烁橙色 （反复闪烁 3 次）（其他可能原因，请参阅第 12 页。）

投影灯的寿命根据使用条件不同而不同。
请用 LMP-D200 投影机灯泡进行更换。
使用 LMP-D200 以外的任何其它投影灯均可能造成投影机损坏。

注意

使用 I/⏻ 键关闭电源后，投影灯的温度仍然很高。 **如果触摸投影灯，手指可能会被烫伤。 更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。**

注意

- **如果投影灯破损，请联系 Sony 专业技术人员。**
- 握住把手将投影灯拉出。 如果触摸投影灯，可能会被烫伤或受伤。
- 拆下投影灯时，令投影灯处于水平状态，然后将其径直拉出。 请勿倾斜投影灯。 如果在倾斜状态下拉出投影灯，万一投影灯损坏，碎片可能散落并导致人身伤害。

1 关闭投影机电源并从交流电源插座拔出交流电源线。

注意

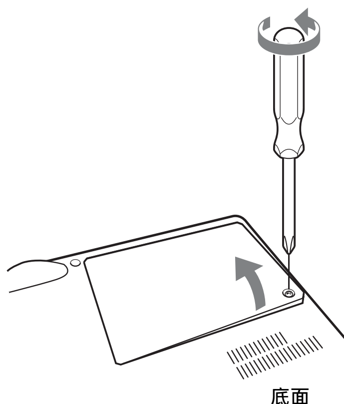
在使用投影机后更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。

2 将保护纸（布）垫在投影机下面。将投影机翻倒以便能看到底面。

注意

翻转投影机之后，务必使其平稳。

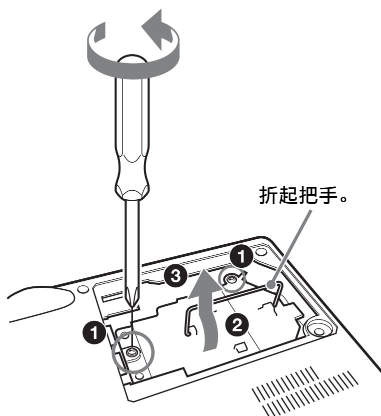
3 用十字螺丝刀拧松螺丝，打开投影灯盖。



注意

为了安全起见，请勿拧松其它任何螺丝。

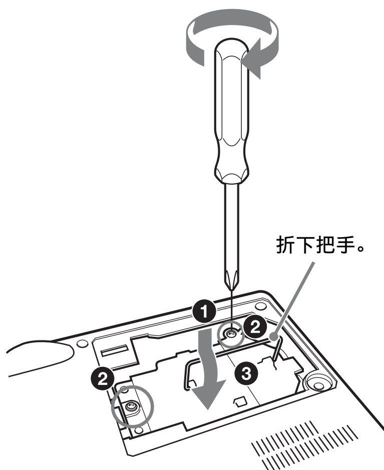
4 用十字螺丝刀拧松投影灯上的两个螺丝 （❶）。 折起把手 （❷），然后握住把手将投影灯拉出（❸）。



注意

请勿将手放进投影灯更换插槽，也不要让任何液体或其它物品落入插槽内，**以免触电或发生火灾。**

5 将新的投影灯完全插入，使其固定到位（❶）。拧紧两个螺丝（❷）。折下把手，使其返回原位（❸）。



注意

- 小心不要触摸投影灯的玻璃表面和导体内部。
- 牢固插入手柄将其固定就位。
- 如果投影灯没有完全固定好，将无法接通电源。

6 关上投影灯盖，拧紧螺丝。

注意

务必关严投影灯盖使其恢复原状。否则，无法接通投影机的电源。

7 将投影机翻转过来。

8 连接电源线。
I/⏻ 键亮红色。

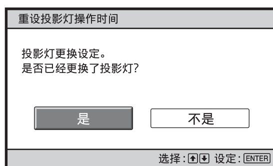
9 按 I/⏻ 键打开投影机。

10 按 MENU 键，然后选择设置菜单。

11 选择 "重设投影灯操作时间"，然后按 ENTER 键。



菜单画面中显示“投影灯更换设定。是否已经更换了投影灯？”。



12 用 ◄ 键选择“是”，然后按 ENTER 键。

投影灯计时器初始化为 0，菜单画面中显示 “投影灯操作时间重设完毕 !”。

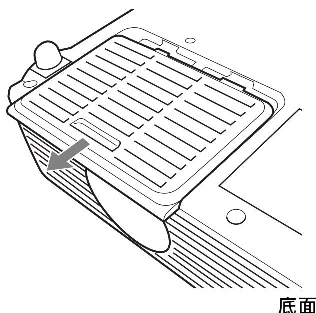
清洁空气滤网

在使用大约 500 小时后，要清洁空气滤网。 拆下空气滤网盖，然后用浸有中性清洁剂的软布轻轻擦去上面的灰尘。
清洁空气滤网所需的时间根据投影机的使用环境或使用方法而异。

1 关闭电源，拔下电源线。

2 用保护纸 （布）垫在投影机下面。

3 拆下空气滤网盖。



4 拆下滤网内部，然后用中性清洁剂擦去灰尘。

5 将滤网装回到空气滤网盖上。

6 重新装上空气滤网盖。

注意

- 如果无法除掉空气滤网上的灰尘，请更换新的空气滤网。
- 有关新的空气滤网的详情，请咨询 Sony 专业技术人员。
- 务必牢固安装空气滤网盖；如果空气滤网没有正确安装，可能会引起故障。

故障排除

如果发现投影机工作不正常，请使用下述说明尝试诊断并解决问题。 如果问题依然存在，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
有关症状的详细信息，请参见 CD-ROM 上的使用说明书。

电源

症状	原因和对策
无法接通电源。	• 电源线未连接。 ➔ 牢固连接电源线。 • 投影灯或投影灯盖没有装严。 ➔ 装严投影灯或投影灯盖。

图像

症状	原因和对策
无图像。	无法接通电源。 ➔ 接通电源。 • 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 透镜盖已关闭。 ➔ 打开透镜控制。 • 输入选择不正确。 ➔ 正确选择输入源。 • 图像被消除。 ➔ 按 PIC MUTING 键解除图像消除功能。 • 电脑信号未被设定为向外部显示器输出，或被设定为同时向外部显示器和电脑液晶显示器输出。 ➔ 将电脑的信号设定为仅向外部显示器输出。
图像有杂讯。	连接电缆可能连接不正确。 ➔ 检查连接电缆是否连接正确。
不出现屏幕显示。	设置菜单上的 “状态” 被设定为 “关”。 ➔ 将设置菜单中的 “状态” 设置为 “开”。
彩色平衡不正确。	图像质量设置不正确。 ➔ 在图像设定菜单上设置图像质量。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。 设置菜单中的 “输入 A 信号选择” 设置有误。 ➔ 根据输入信号正确选择 “电脑”、“视频信号输入 GBR” 或 “分量”。 • 投影机的彩色制式设定错误。 ➔ 设置设置菜单中的 “彩色制式”，使其与输入信号的彩色制式匹配。
图像太暗。	• 没有正确调整对比度或亮度。 ➔ 适当调整图像设定菜单中的对比度或亮度。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。 • 投影灯烧坏或变暗。 ➔ 检查信息菜单上的 “投影灯操作时间”。

症状	原因和对策
图像不清晰。	• 图像未聚焦。 ➔ 调整聚焦。 • 镜头上有水气凝聚。 ➔ 接通投影机电源并放置约 2 小时。
影像超出屏幕。	• 尽管已按 APA 键，影像周围仍有黑边。 ➔ 在屏幕上显示完整影像并按 APA 键。 • 图像设置不正确。 ➔ 调节 “移位” （屏幕设定设置菜单上）。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。
图像闪动。	• 屏幕设置不正确。 ➔ 调节 “相位” （屏幕设定设置菜单上）。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。
显示内容的纵横比不正确。	• 屏幕设置不正确。 ➔ 调节 “纵横比” （屏幕设定设置菜单上）。 ➔ 您可将所有设置值重置为默认值。

声音

症状	原因和对策
无声音。	• 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 使用的音频连接电缆不正确。 ➔ 使用无阻抗立体声音频电缆。 • 声音被静音。 ➔ 按 AUDIO MUTING 键键解除音频静音功能。 • 声音调节不正确。 ➔ 使用遥控器上的 VOLUME +/- 键调节声音。

指示灯

症状	原因和对策
LAMP/COVER 指示灯闪烁橙色。（以 2 次闪烁为一个循环）	• 投影灯盖脱落。 ➔ 将盖板装严。
LAMP/COVER 指示灯闪烁橙色。 （以 3 次闪烁为一个循环）	• 本机内部温度太高，温度传感器已经启动。 ➔ 检查新鲜空气入口和废气出口是否被堵塞。 • 投影灯的温度过高。 ➔ 请等候 90 秒钟让投影灯冷却，然后再次接通电源。 检查以上项目后，如果问题仍然出现，则可能是以下原因造成： • 必须更换投影灯，因为它已经到了服务寿命。 • 本机内部温度太高，温度保险丝被烧断。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
I/⏻ 键闪烁红色。 （以 2 次闪烁为一个循环）	• 内部温度异常升高。 ➔ 检查通风孔是否堵塞。 • 在高海拔地区使用投影机。 ➔ 确保设置菜单中的 “高海拔高度模式” 被设置为 “开”。
I/⏻ 键闪烁红色。 （以 4 次闪烁为一个循环）	冷却扇损坏。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

症状	原因和对策
I/⏻ 键闪烁红色。（以 6 次闪烁为一个循环）	在 I/⏻ 键熄灭后，从墙上电源插座拔下交流电源线，将电源线插进墙上电源插座，然后重新接通投影机电源。 如果 I/⏻ 键闪烁红色并且该状态持续，说明电气系统有故障。 或者本机内部温度太高，温度保险丝被烧断。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

规格

投影系统
3 LCD 面板、1 镜头，投影系统

LCD 面板 0.63 英寸 （16.0 mm）XGA 面板、约 2360000 像素（786432 像素 × 3）

镜头 1.2 倍变焦镜头
f 18.63 mm 至 22.36 mm/F1.65 至 1.8

投影灯 200 W 超高压汞灯

投影图像的尺寸 （对角线测量）
40 英寸至 300 英寸（1016 mm 至 7620 mm）

光输出 VPL-DX10： 2500 流明
VPL-DX11/DX15：3000 流明
（当投影灯模式设置为 “高位” 时。）

投射距离 请参阅随附 CD-ROM 中 “操作说明书”的 “安装投影机和安装示意图”部分。

彩色制式 NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60 系统、自动 / 手动切换
（NTSC4.43 是用于播放在 NTSC4.43 制式录像机上录制的 NTSC 视频时使用的彩色制式。 ）

分辨率 750 行水平电视线 （视频输入）
1024 × 768 点 （RGB 输入）

可接收的电脑信号 [1]
行频 ： 19 kHz 至 80 kHz
场频 ： 48 Hz 至 92 Hz
（最大输入信号分辨率： SXGA+ 1400 × 1050
场频 ： 60 Hz）

[1] 将所连接电脑的信号的分辨率和频率设置为投影机可接收预设信号范围内。

适用视频信号
15 k RGB、分量 50/60 Hz、逐级分量 50/60 Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、复合视频、Y/C

尺寸 295 × 74 × 204 mm（宽 / 高 / 长）（不含投影部件）
（尺寸为近似值）

质量 VPL-DX10/DX11： 约 2.1 公斤（4 磅 11 盎司）
VPL-DX15： 约 2.2 公斤 （4 磅 14 盎司）
（质量为近似值）

电源要求 交流 100 V 至 240 V、3.6 A 至 1.6 A 、50/60 Hz

功耗 VPL-DX15：最大 320 W
待机状态下 （标准）：10.5 W
待机状态下 （低位）： 小于 1.0 W
VPL-DX10/DX11：最大 320 W
待机状态下 （标准）： 5.5 W
待机状态下 （低位）： 小于 1.0 W

工作温度 0 ℃至 35 ℃

随机附件 遥控器 （1）
锂电池 CR2025（1）（安装在摇控器上）
HD D-sub 15 芯电缆 （2 m）（1）（1-791-992-51/Sony）或（1-791-992-61/Sony）
软包 （1）
交流电源线 （1）
使用说明书 （CD-ROM）（1）
快速参考手册 （1）
安全标签 （1）

本机的设计和规格 （包括选购附件）如有变更，恕不另行通知。

注意

在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不作 （包括但不限于）退货或赔偿。

选购附件

投影机灯泡 LMP-D200 （更换用）
发表工具 RM-PJPK1

不是在所有国家和地区都有全部选购附件供货。请向当地 Sony 经销商查询。

この説明書は古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ **0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in Japan

